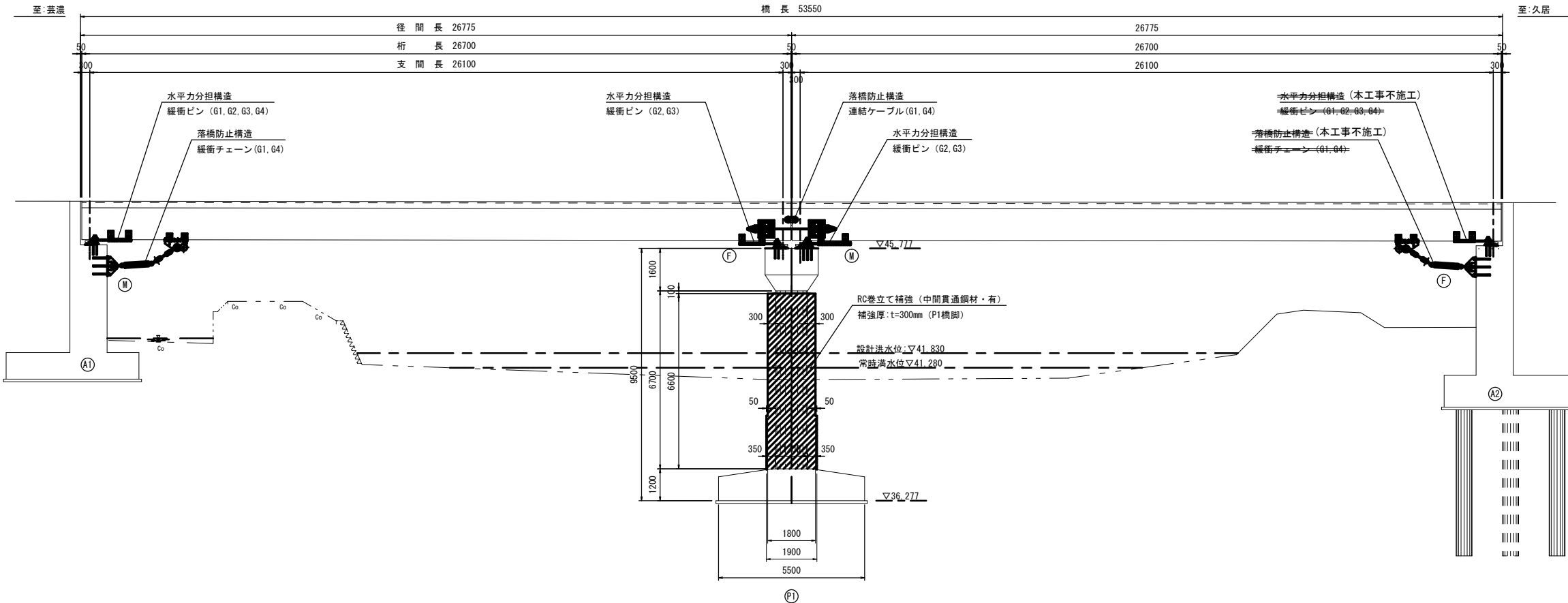
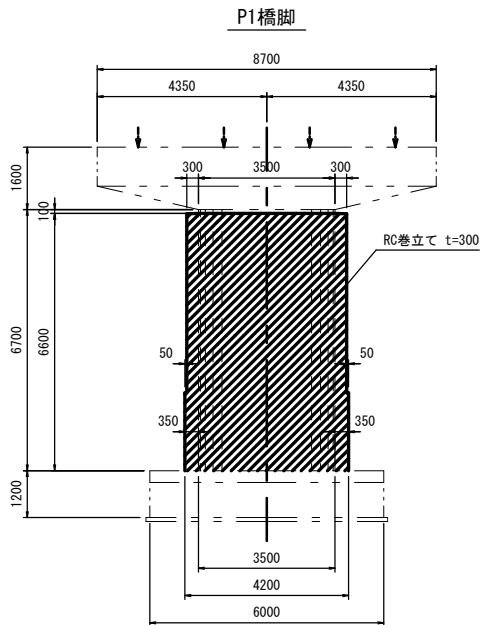


小古曽橋 補強一般図 S=1:100

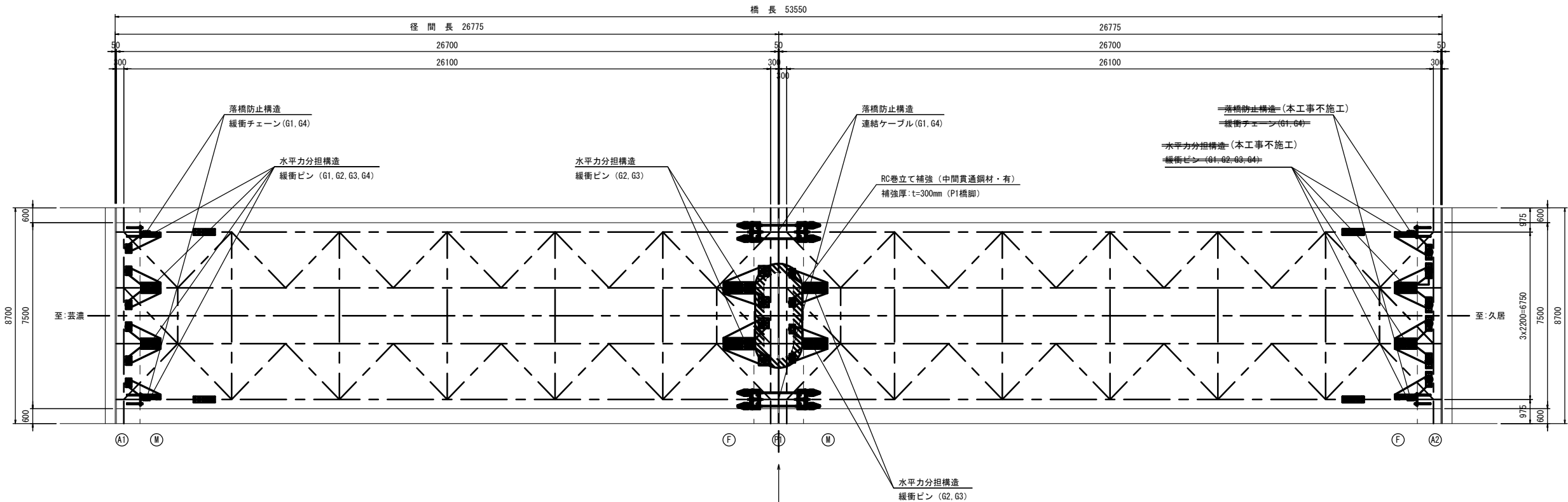
側面図 S=1:100



断面図 S=1:100



平面図 S=1:100



設計条件

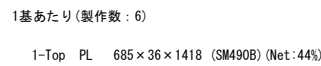
上部工	橋 格	一等橋	
	荷 重	TL-20	
	上部工形式	単純合成版桁橋	
	橋 長	53.550m	
	径 間 長	2826.775m	
	桁 長	2826.700m	
	支 間 長	2826.100m	
	全 幅 員	8.700m	
	有効幅員	7.500m	
	斜 角	90° 00'	
	舗 装	アスファルト舗装 (t=50mm)	
	支 承	高力貴鋼支承板支承 (BP・A)	
	架設年次	平成元年	
	適用示方書年次	昭和55年示方書	
下部工	橋 台	逆T式	
	橋 脚	張出小判柱	
	基 礎	A1橋台	直接基礎
		A2橋台	杭基礎
		P1橋脚	直接基礎

※この図面はA 1サイズを原寸とする

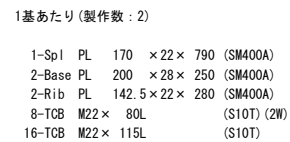
工 事 名	令和6年度北橋維補繕第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	1/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

S=1:10

G1 (G2側) ・ G2 (G1・G3側) ・ G3 (G2・G4側) ・ G4 (G3側)



G1 (G2側) ・ G4 (G3側)



1基あたり (製作数: 2)

1-Spl	PL	170	× 22 ×	790	(SM400A)
2-Base	PL	200	× 28 ×	250	(SM400A)
2-Rib	PL	157.5	× 22 ×	280	(SM400A)
4-TCB	M22	× 105L			(S10T) (2W)
16-TCB	M22	× 115L			(S10T)

1基あたり(製作数:2)

1-Spl	PL	170	×22×	790	(SM400A)
2-Base	PL	200	×28×	250	(SM400A)
2-Rib	PL	157.5	×22×	280	(SM400A)
4-TCB	M22×	105L			(S10T)(2W)
16-TCB	M22×	115L			(S10T)

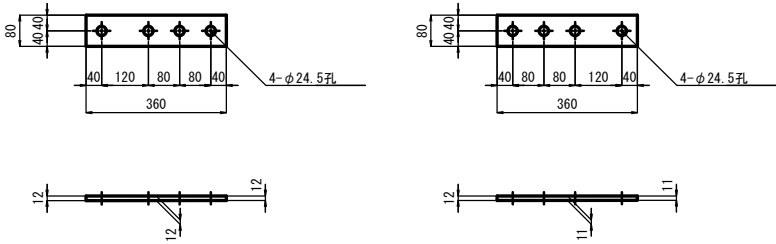
- ※この図面はA 1サイズを原寸とする

工 事 名	令和6年度北橋椎補修第1号 小古首橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	A1橋台 水平力分担構造図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	3/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

フィラープレート詳細図

G1 (G2側) ・ G4 (G3側)

TYPE-1



1基あたり (製作数 : 2)

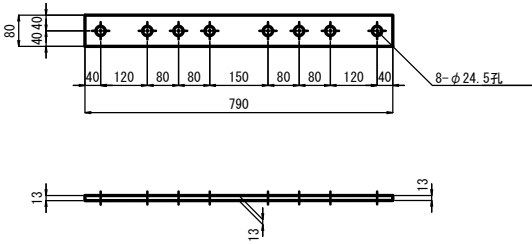
1-Fill PL 80×12× 360 (SS400)

1基あたり (製作数 : 2)

1-Fill PL 80×12× 360 (SS400)

G2 (G1側) ・ G3 (G4側)

TYPE-1

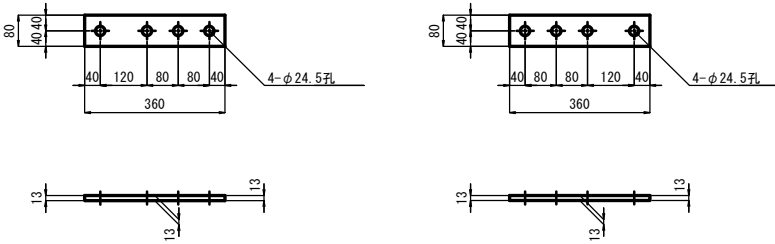


1基あたり (製作数 : 2)

1-Fill PL 80×13× 790 (SS400)

G2 (G3側) ・ G3 (G2側)

TYPE-1



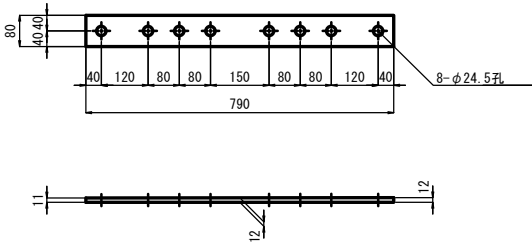
1基あたり (製作数 : 2)

1-Fill PL 80×13× 360 (SS400)

1基あたり (製作数 : 2)

1-Fill PL 80×13× 360 (SS400)

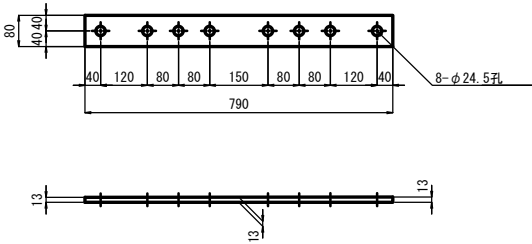
TYPE-2



1基あたり (製作数 : 2)

1-Fill PL 80×12× 790 (SS400)

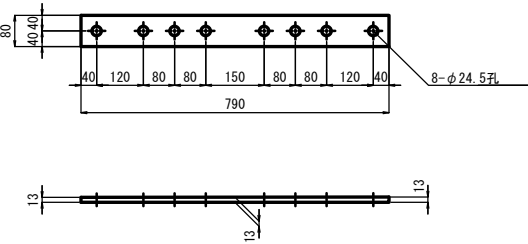
TYPE-2



1基あたり (製作数 : 2)

1-Fill PL 80×13× 790 (SS400)

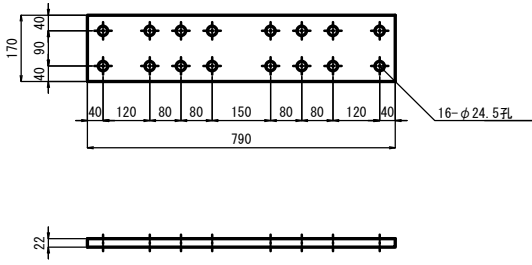
TYPE-2



1基あたり (製作数 : 2)

1-Fill PL 80×13× 790 (SS400)

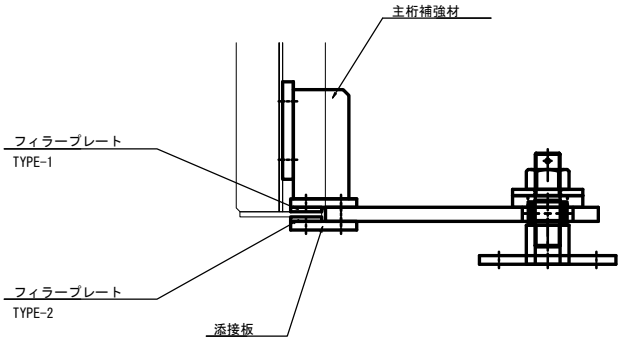
添接板詳細図



1基あたり (製作数 : 6)

1-Spl PL 170×22× 790 (SS400)

フィラープレート、添接板取付詳細図



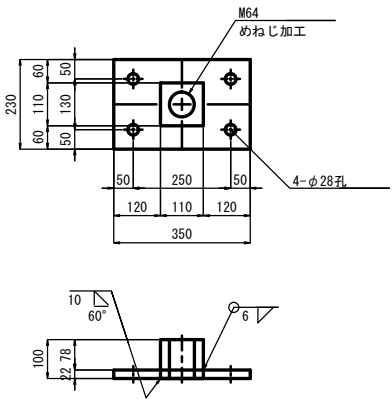
※この図面はA 1サイズを原寸とする

工 事 名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	A1橋台 水平力分担構造図 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	4/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

小古曽橋 A1橋台 水平力分担構造図（その3）

S=1:10

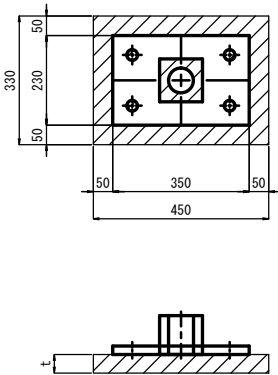
鋼製架台詳細図



1基あたり(製作数: 6)

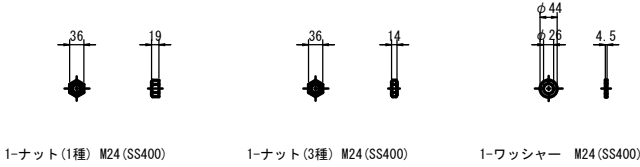
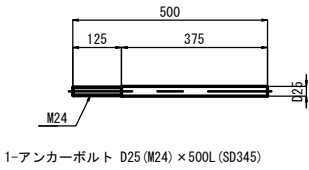
- 1-Base PL 230×22×350 (SM490A)
1- PL 110×100×110 (SM490C)
4-アンカーボルト D25×500L (SD345)
4-ナット(1種) M24 (SS400)
4-ナット(3種) M24 (SS400)
4-ワッシャー M24 (SS400)

台座調整モルタル詳細図



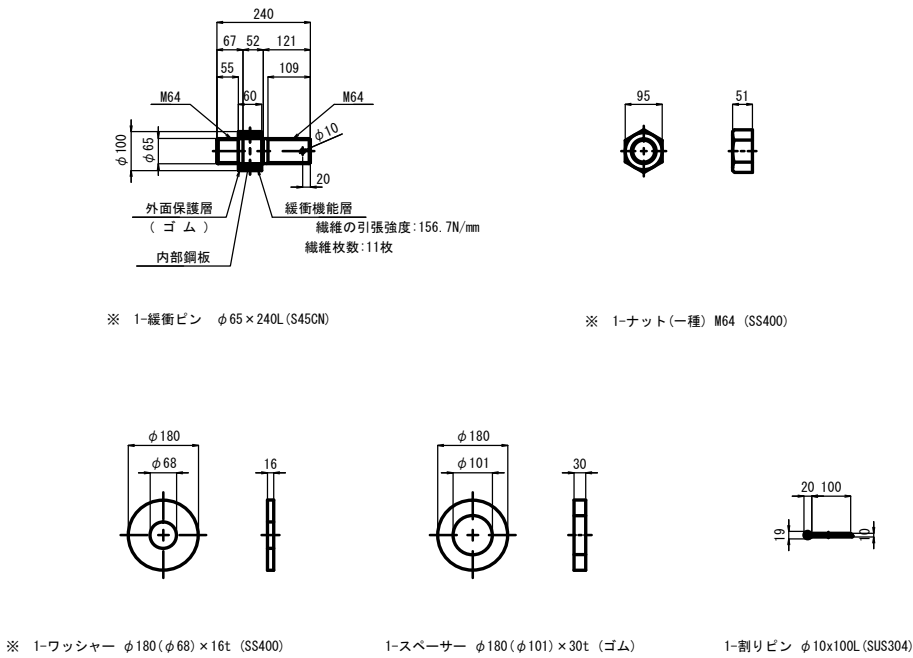
	t
G1 (G2側)	48
G2 (G1側)	49
G2 (G3側)	49
G3 (G2側)	49
G3 (G4側)	49
G4 (G3側)	48

アンカーボルト詳細図

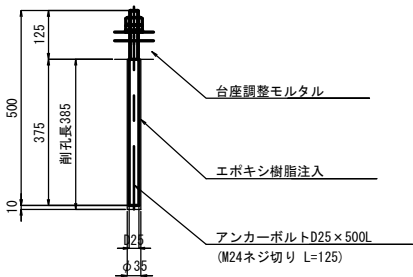


緩衝ピン詳細図

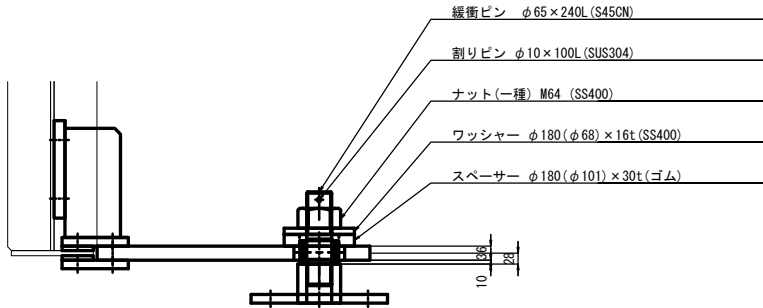
1基あたり(製作数: 6)



アンカーボルト取付詳細図



緩衝ピン取付詳細図



- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- 特記なきスカーラップは全てR35とすること。
- 指示なき溶接は完全溶け込み溶接とする。
- 鋼製架台の表面処理は、溶融亜鉛めっき (JIS H 8641) とする。
取付金具類の膜厚はHDZT77とする。
アンカーボルト類の膜厚はHDZT49とする。
緩衝ピン類は、※印の部材に溶融亜鉛めっきを施すものとし、膜厚はHDZT49とする。

※この図面はA 1サイズを原寸とする

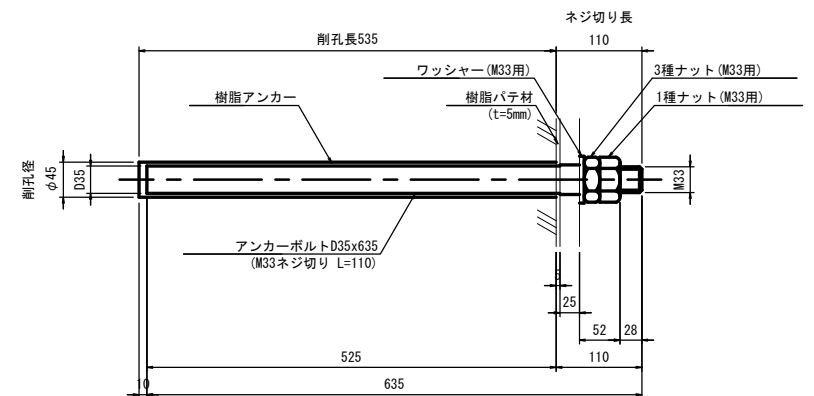
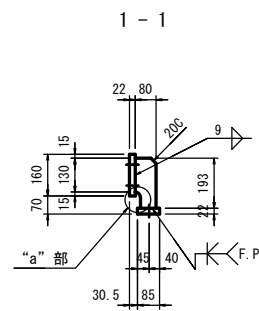
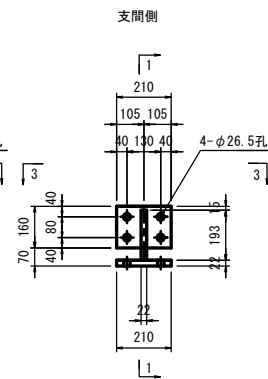
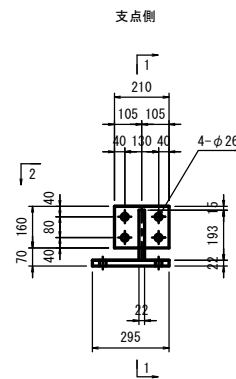
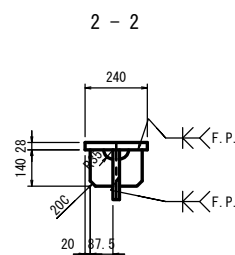
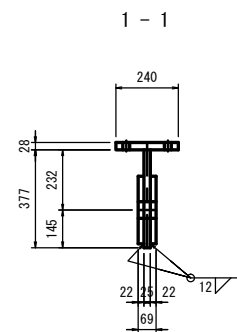
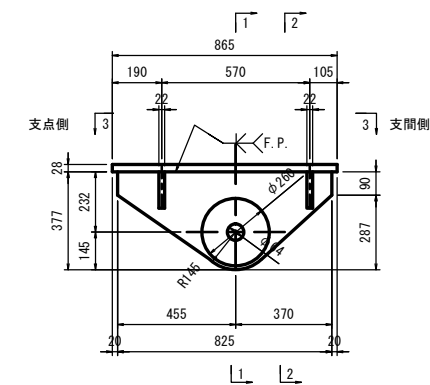
工 事 名	令和6年度北橋補修第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	A1橋台 水平力分担構造図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	5/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

小古曾橋 A1橋台落橋防止構造

S=1:15

上部エブラケット詳細図

S=1:15

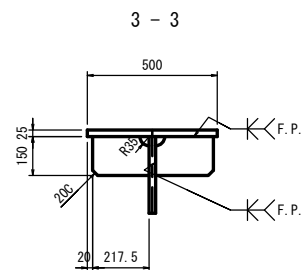
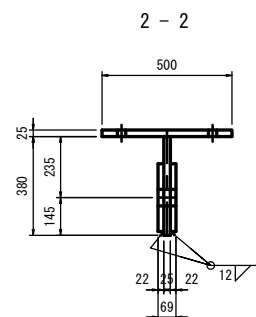
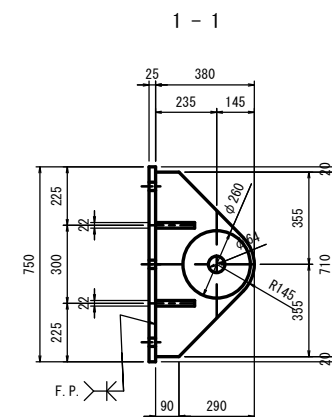
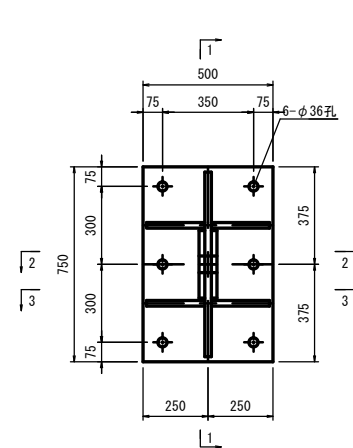


※アンカーボルトの溶融亜鉛メッキはネジ切り長以上に施すものとする。

1基当り (1支承線当たり2基)
6 - D35 × 635 (SD345)
M33 1-N(1種, 3種), 1-W含む

下部エブラケット詳細図

S=1:15



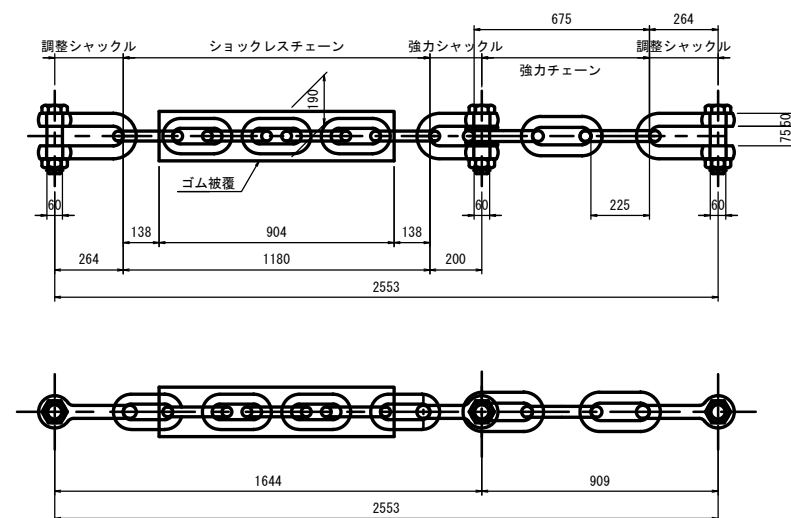
1 基当り (1支承線当たり 全2基)

1 - Base	PL	500 x 25 x 750
1 - Top	PL	380 x 25 x 710
2 - Ring	PL	260 x 22 x 260
4 - Rib	PL	150 x 22 x 218

緩衝チェーン詳細図

S=1:15

(5型3リンク, 許容荷重 825kN)



1-ショックレスチェーン 5型 (SCM420H)
3-強力チェーン φ42 (SCM420H)
2-調整シャックル φ50 (SCM435)
1-強力シャックル φ50 (SCM435)

注記

1. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
2. 特記なき材質はSM400Aを示す。
3. 溶接記号「F.P」は完全溶け込み開先溶接を示す。
4. 下部エブラケット及びアンカーのネジ部は
溶融亜鉛メッキ処理のこと。

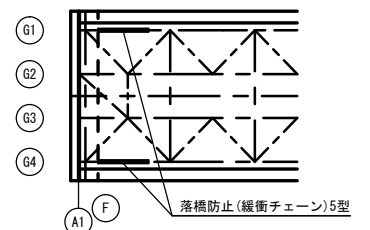
鋼材：HDZ55

アンカーネジ部ナット、ワッシャー：HDZ35

5. 上部エブラケット及び主桁補強材の塗装仕様
C-5(F-11)塗装系とする。

配置図 S=1:200

S=1 : 200

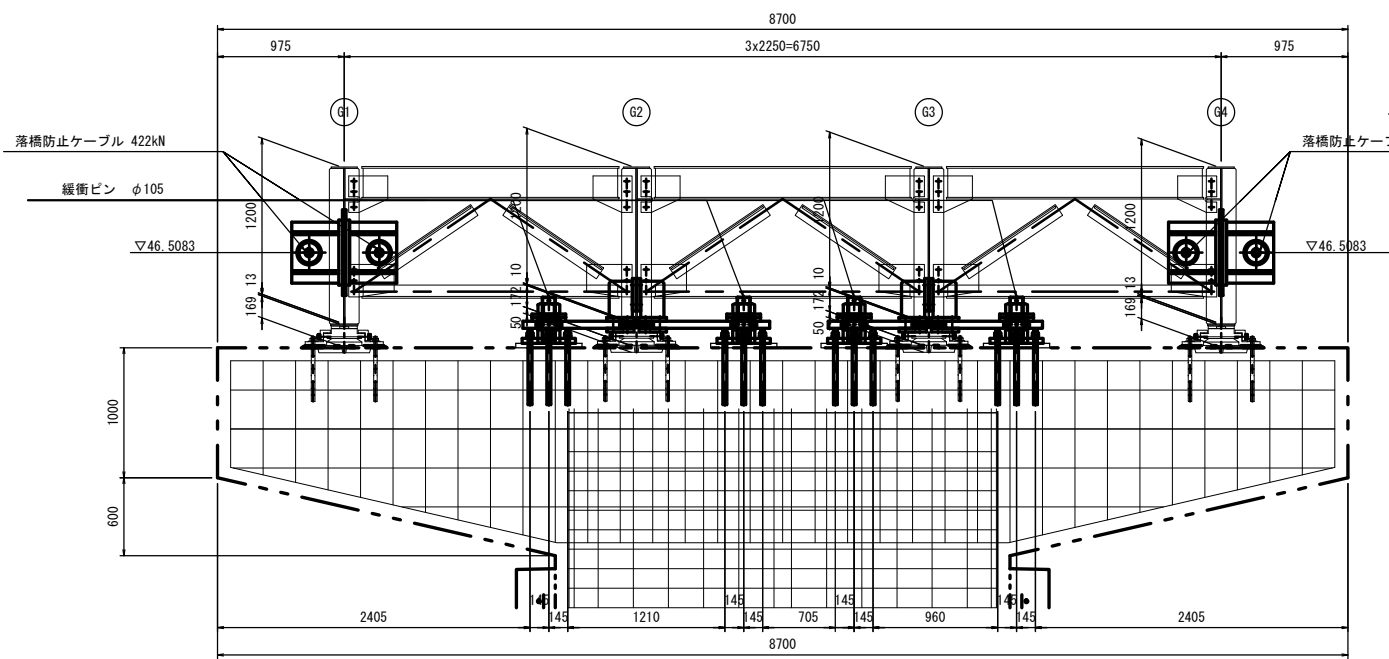


※この図面はA 1サイズを原寸とする

工 事 名	令和6年度北橋維補繕第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	A1橋台 落橋防止構造図		
縮 尺	図示	図面番号	6/24
事業所名	津市建設部津北工事業務所		

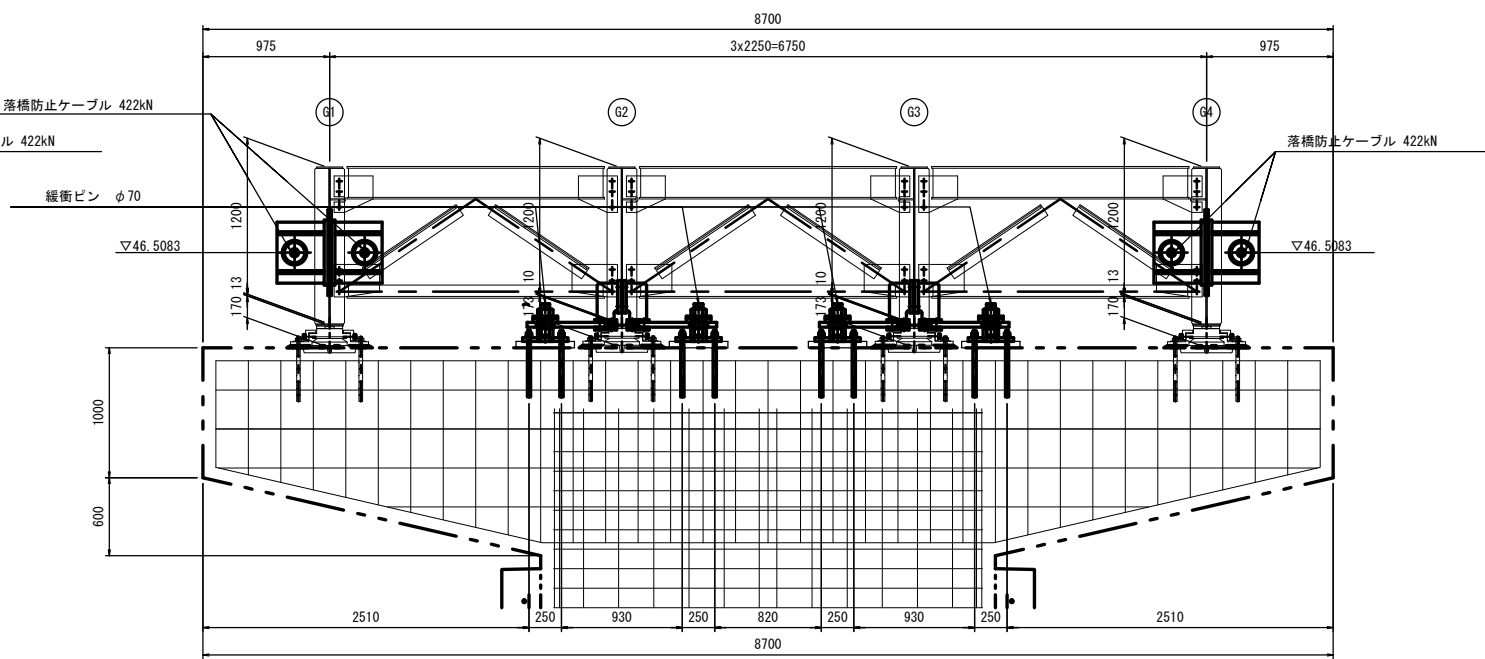
正面図

A1側

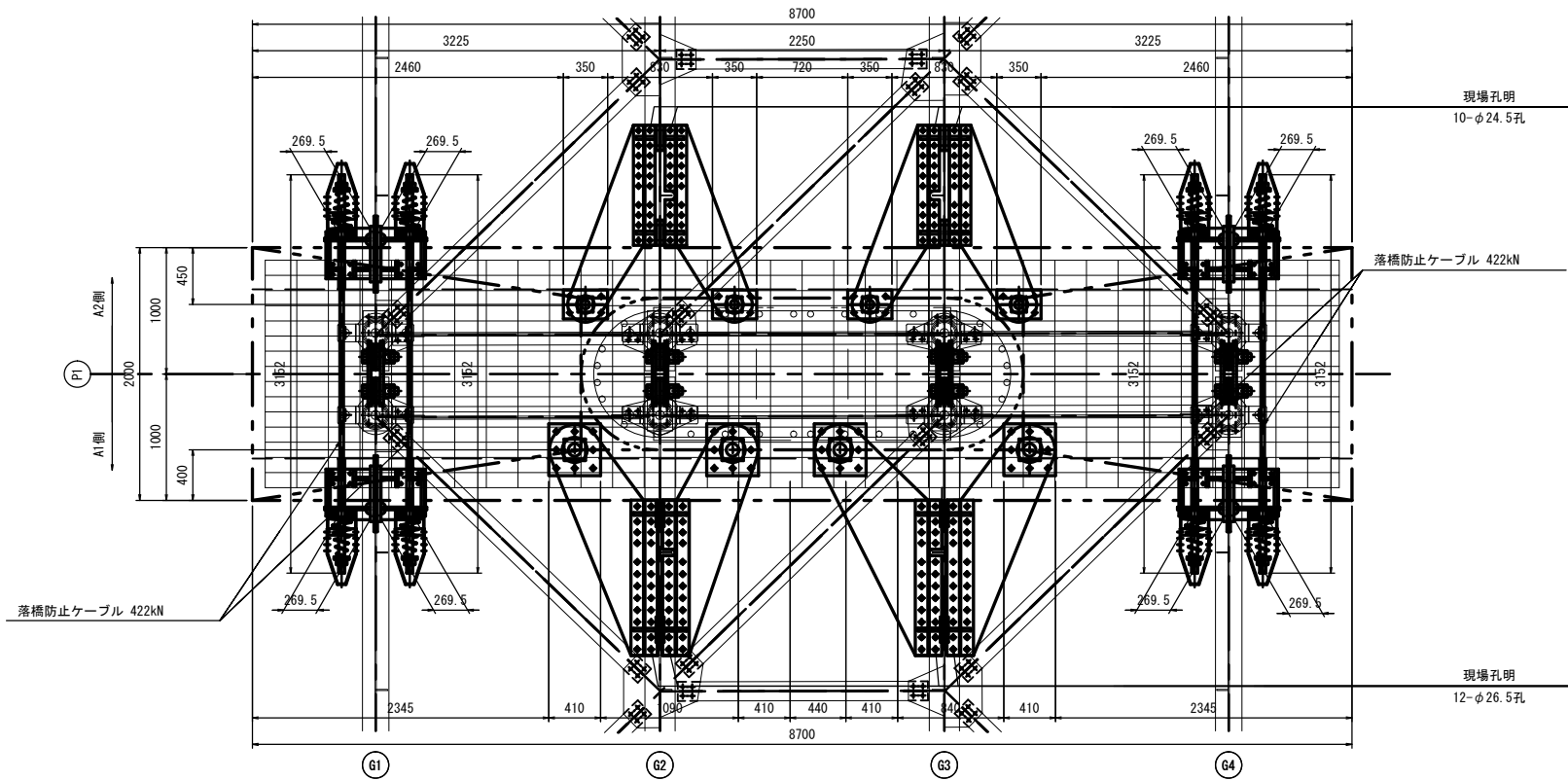


正面図

A2側



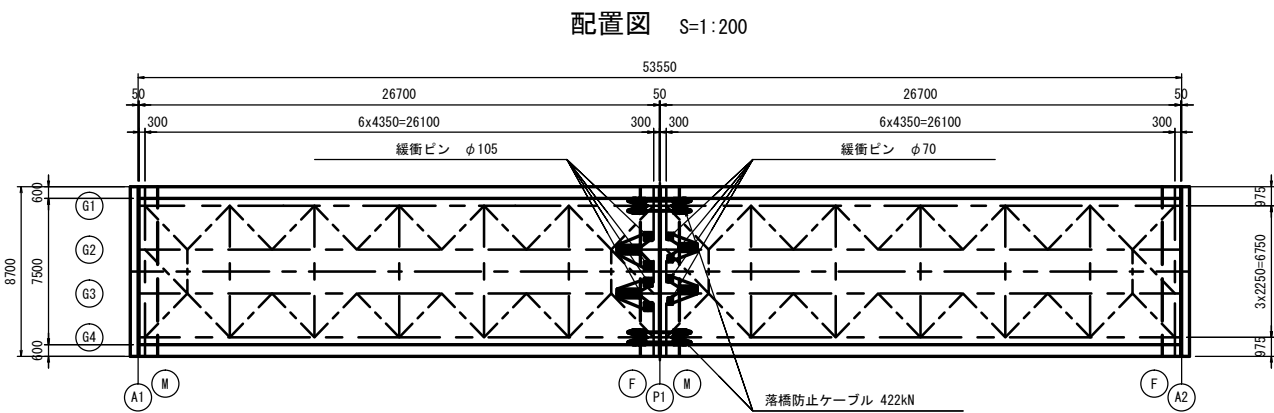
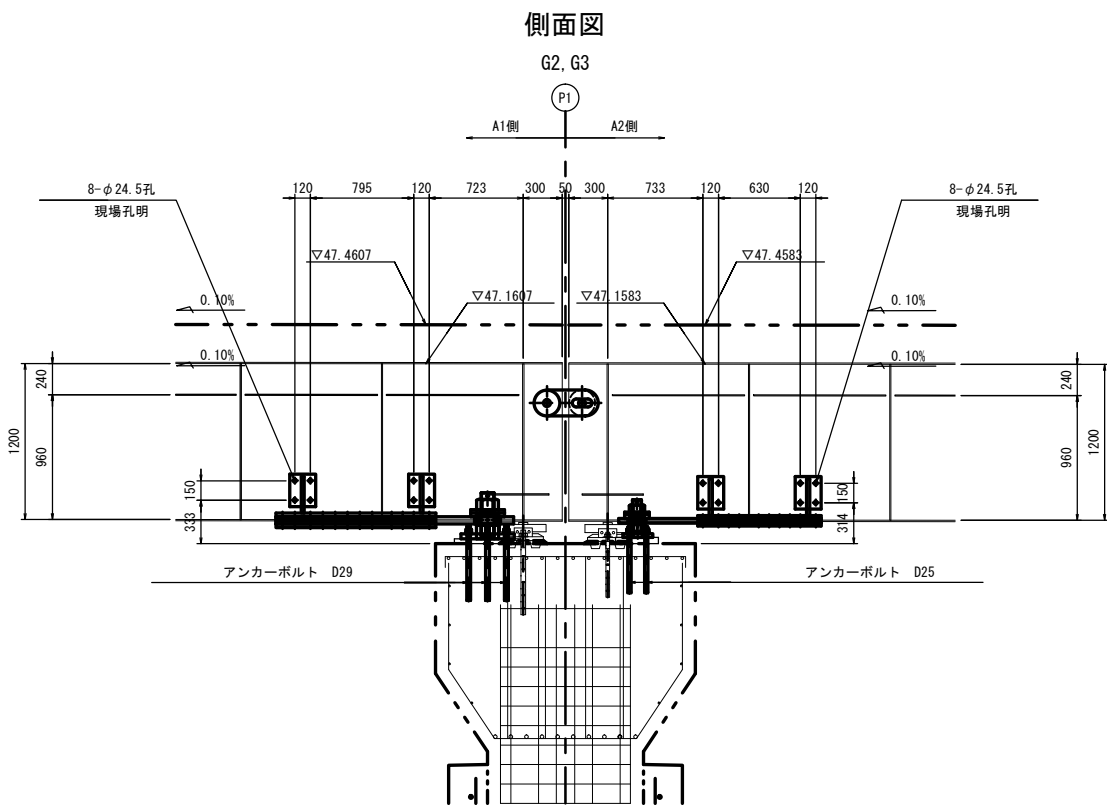
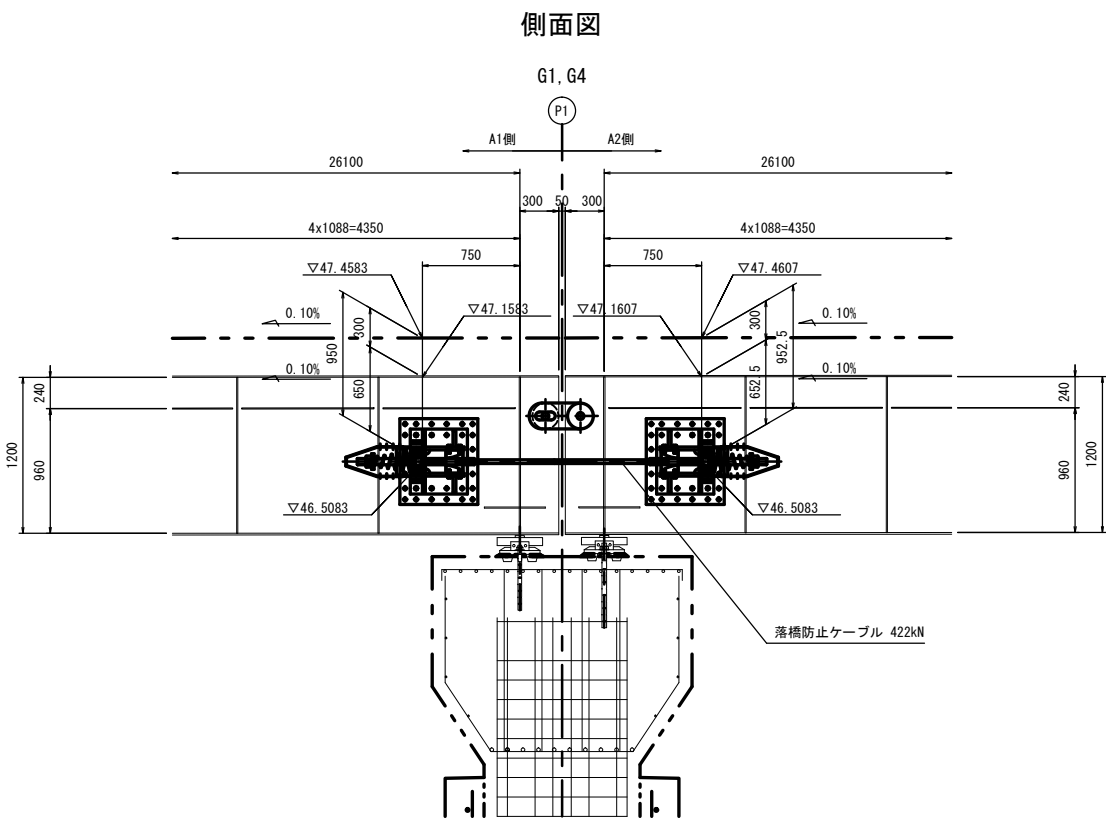
平面図



- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- 特記なきスカーラップは全てR35とすること。
- 指示なき溶接は完全溶け込み溶接とする。
- 鋼製架台・下部工ブラケットの表面処理は、溶融亜鉛めっき（JIS H 8641）とする。
取付金具類の膜厚はHDZT77とする。
アンカーボルト類の膜厚はHDZT49とする。
緩衝ピン類は、※印の部材に溶融亜鉛めっきを施すものとし、膜厚はHDZT49とする。

※この図面はA 1サイズを原寸とする

工 事 名	令和6年度北橋維補繕第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	P1橋脚 配置図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	7/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		



- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- 特記なきスカーラップは全てR35とすること。
- 指示なき溶接は完全溶け込み溶接とする。
- 鋼製架台・下部工ブラケットの表面処理は、溶融亜鉛めっき（JIS H 8641）とする。
取付金具類の膜厚はHDZT77とする。
アンカーボルト類の膜厚はHDZT49とする。
緩衝ピン類は、※印の部材に溶融亜鉛めっきを施すものとし、膜厚はHDZT49とする。

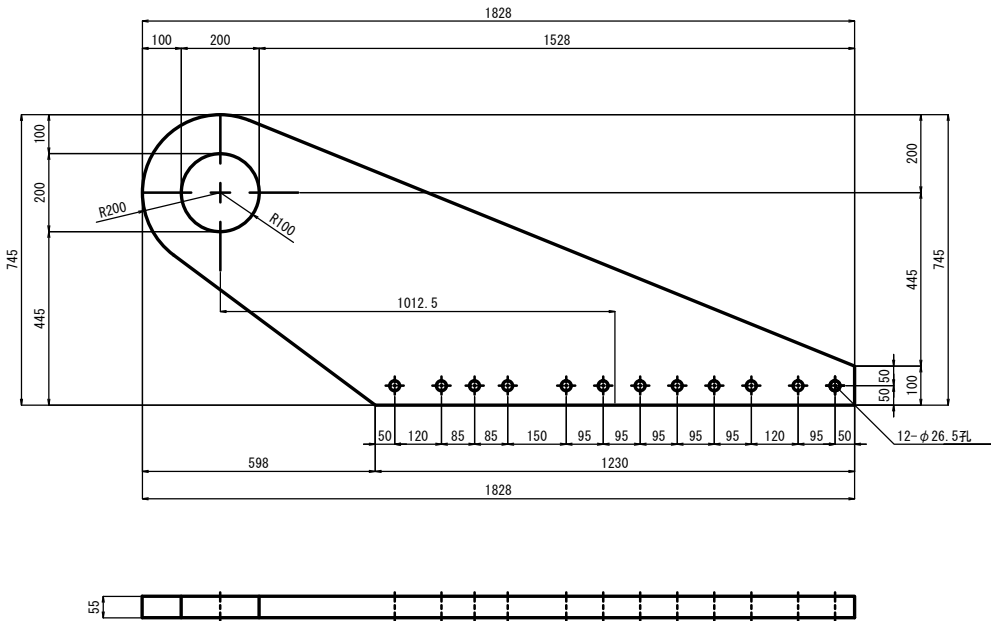
※この図面はA 1サイズを原寸とする			
工 事 名	令和6年度北橋維補繕第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	P1橋脚 配置図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	8/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

小古曽橋 P1橋脚(A1側) 水平力分担構造図（その1）

S=1:10

上部工取付金具詳細図

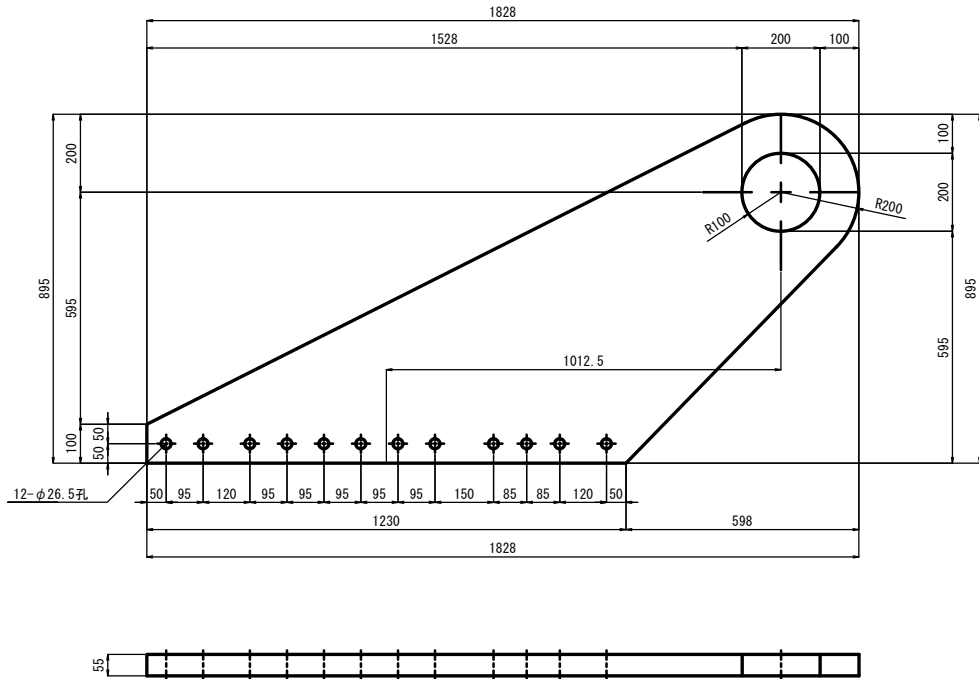
G2 (G1側)・G3 (G4側)



1基あたり(製作数:2)

1-Top PL 745×55×1828 (SM490C) (Net:52%)

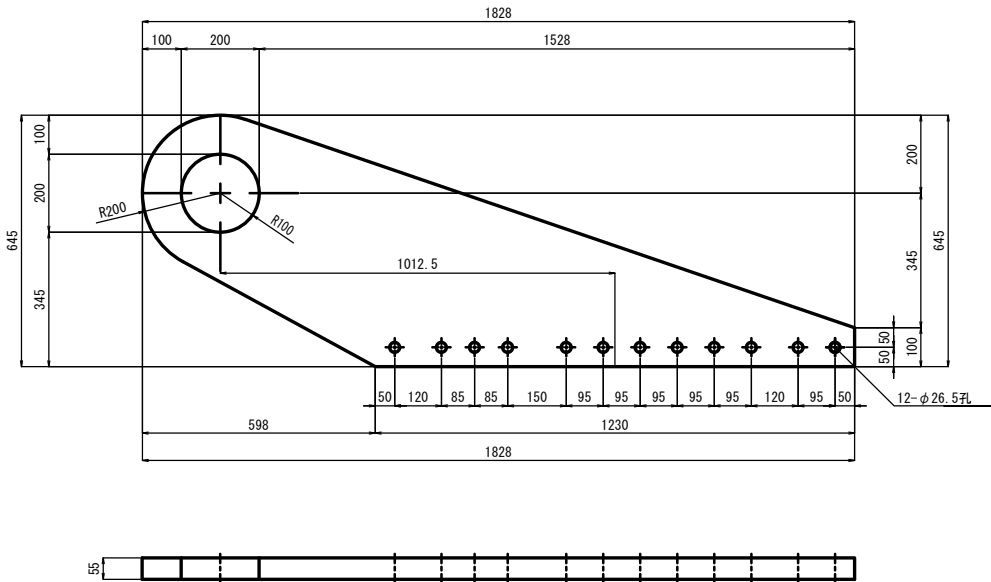
G3 (G2側)



1基あたり(製作数:1)

1-Top PL 895×55×1828 (SM490C) (Net:50%)

G2 (G3側)



1基あたり(製作数:1)

1-Top PL 645×55×1828 (SM490C) (Net:54%)

- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 2) 緩衝ビンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 3) 緩衝ビンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 4) 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- 5) 特記なきスカーラップは全てR35とすること。
- 6) 指示なき溶接は完全溶け込み溶接とする。

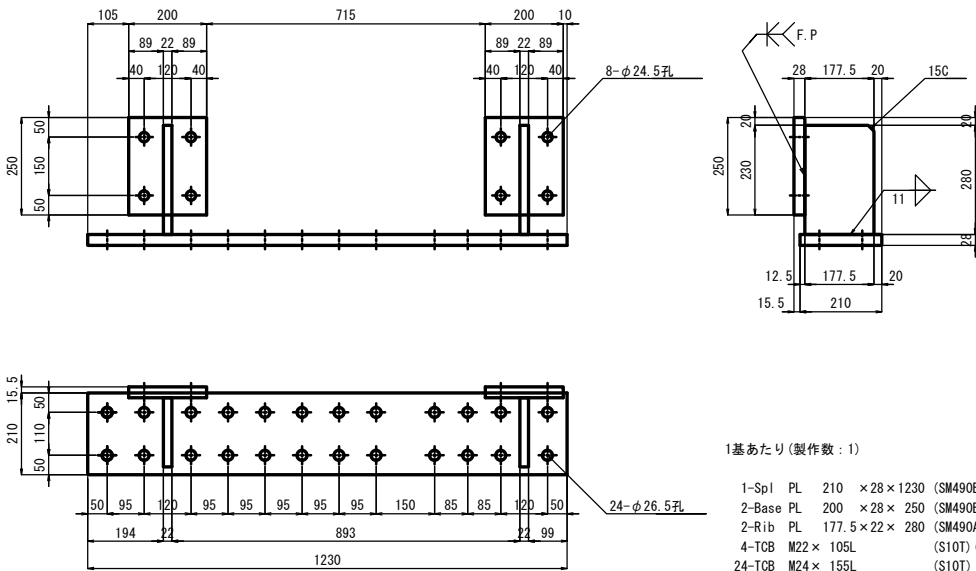
※この図面はA 1 サイズを原寸とする

工 事 名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	P1橋脚(A1側) 水平力分担構造図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	9/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

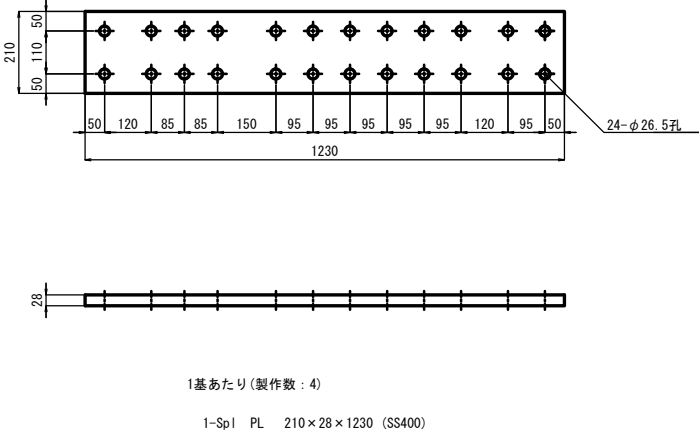
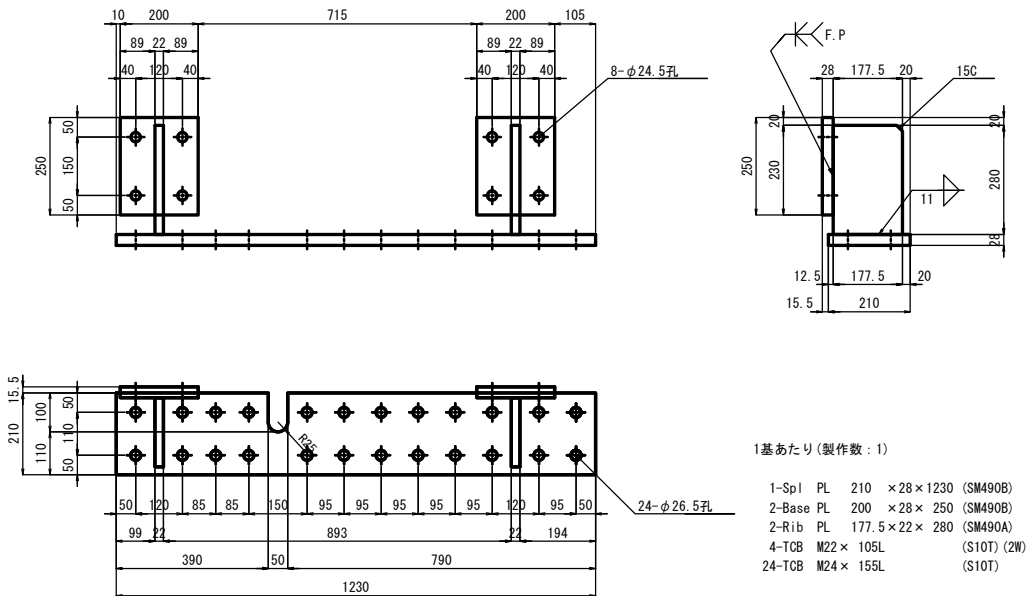
主桁補強材詳細図

添接板詳細図

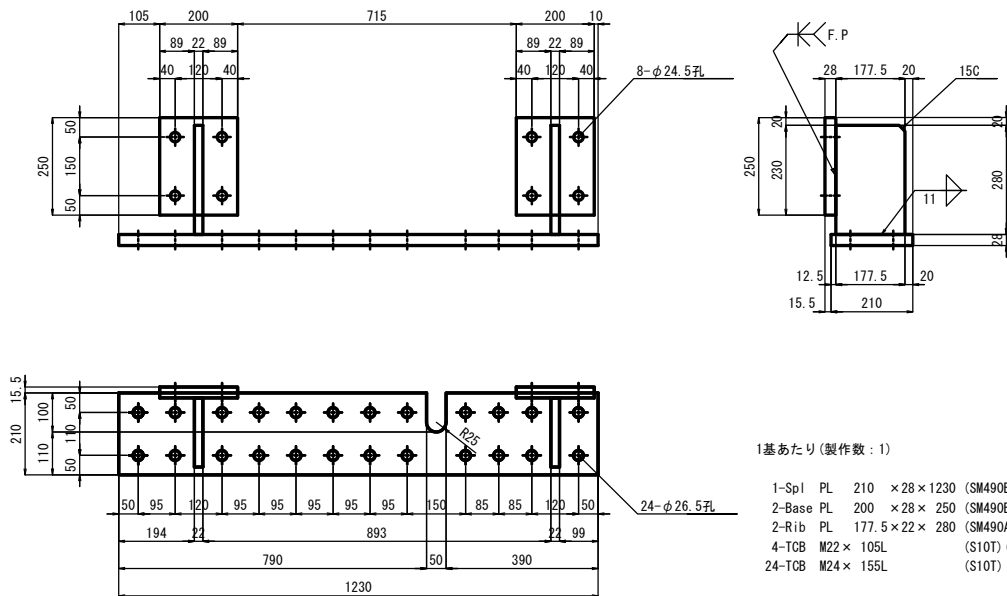
G2 (G1側)



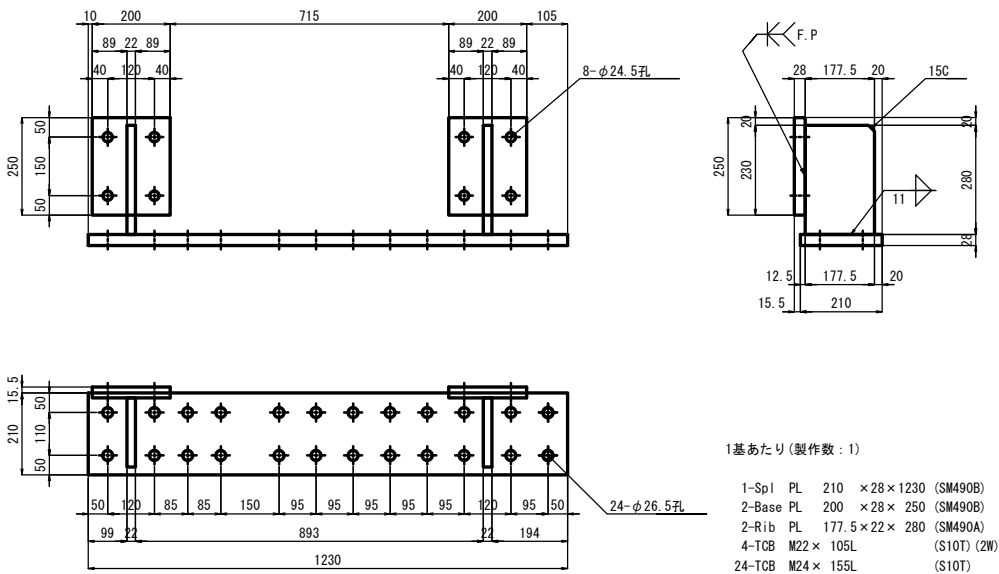
G2 (G3側)



G3 (G2側)



G3 (G4側)



- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- 特記なきスカーラップは全てR35とすること。
- 指示なき溶接は完全溶け込み溶接とする。

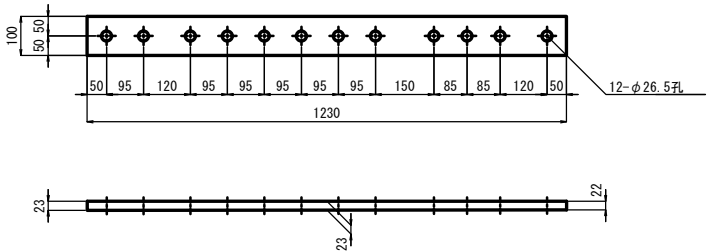
※この図面はA 1サイズを原寸とする

工 事 名	令和6年度北橋維補繕第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	P1橋脚(A1側) 水平力分担構造図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	10/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

フィラープレート詳細図

G2 (G1側)

TYPE-1

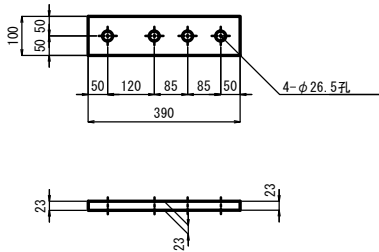


1基あたり(製作数：1)

1-Fill PL 100×23×1230 (SS400)

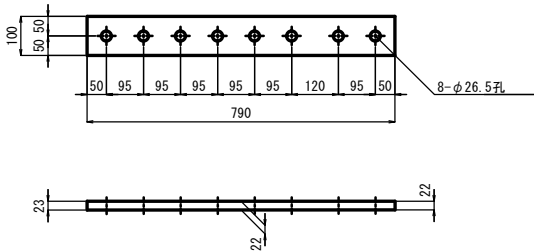
G2 (G3側)

TYPE-1



1基あたり(製作数：1)

1-Fill PL 100×23×390 (SS400)

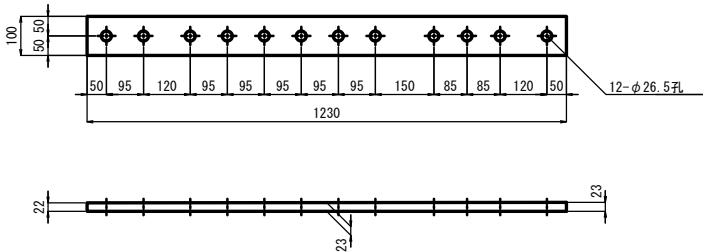


1基あたり(製作数：1)

1-Fill PL 100×23×790 (SS400)

G2 (G1側)・G3 (G2側)

TYPE-2

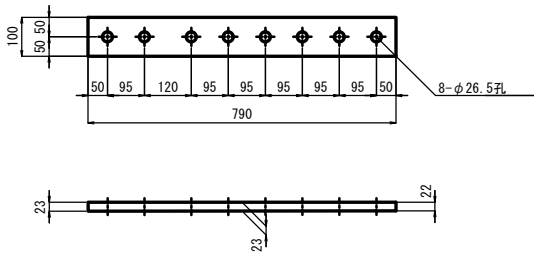


1基あたり(製作数：2)

1-Fill PL 100×23×1230 (SS400)

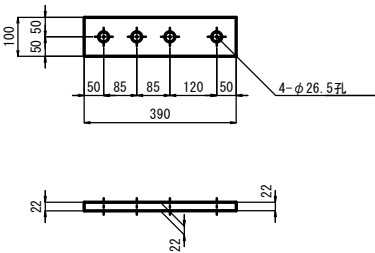
G3 (G2側)

TYPE-1



1基あたり(製作数：1)

1-Fill PL 100×23×790 (SS400)

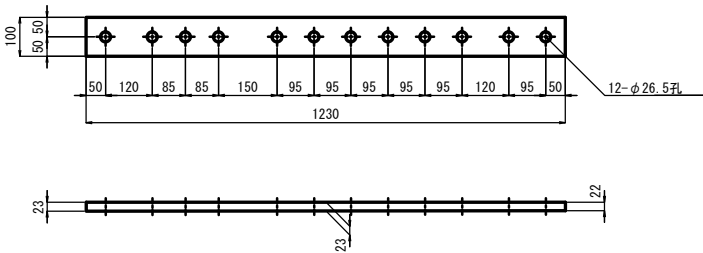


1基あたり(製作数：1)

1-Fill PL 100×22×390 (SS400)

G3 (G4側)

TYPE-1

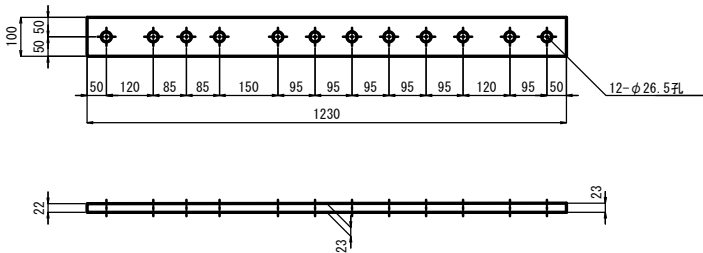


1基あたり(製作数：1)

1-Fill PL 100×23×1230 (SS400)

G2 (G3側)・G3 (G4側)

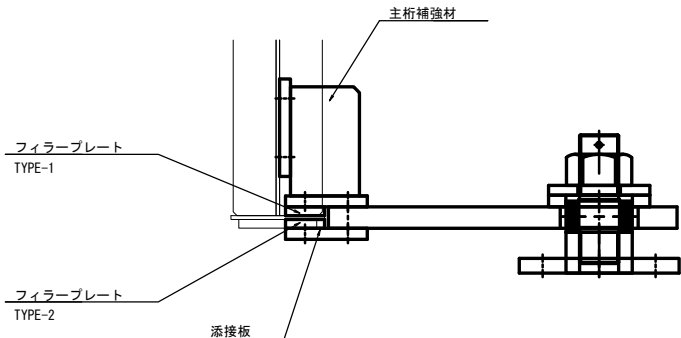
TYPE-2



1基あたり(製作数：2)

1-Fill PL 100×23×1230 (SS400)

フィラープレート、添接板取付詳細図

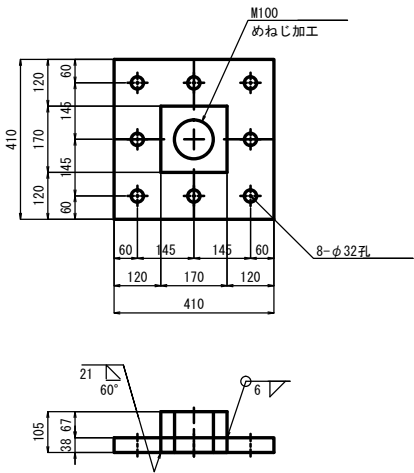


- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 緩衝ビンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 緩衝ビンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- 特記なきスカーラップは全てR35とすること。
- 指示なき溶接は完全溶け込み溶接とする。

※この図面はA 1サイズを原寸とする

工 事 名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	P1橋脚(A1側) 水平力分担構造図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	11/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

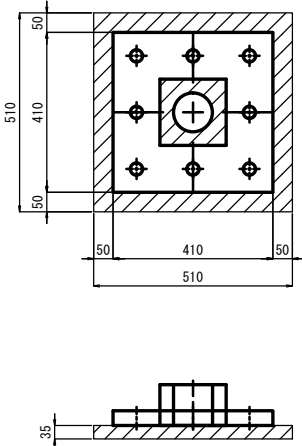
鋼製架台詳細図



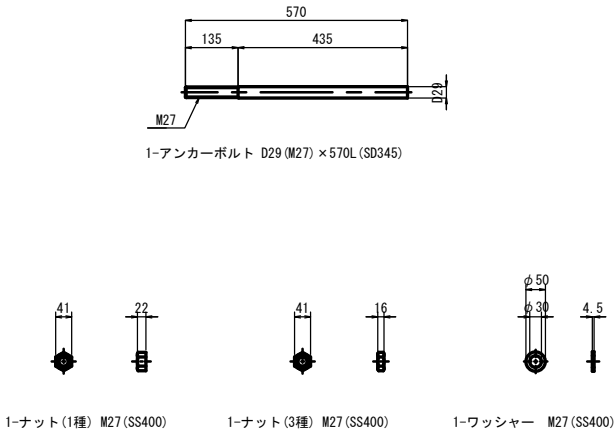
1基あたり(製作数：4)

1-Base PL 410×38×410 (SM490B)
1- PL 170×105×170 (SM490C)
8-アンカーボルト D29×570L (SD345)
8-ナット(1種) M27 (SS400)
8-ナット(3種) M27 (SS400)
8-ワッシャー M27 (SS400)

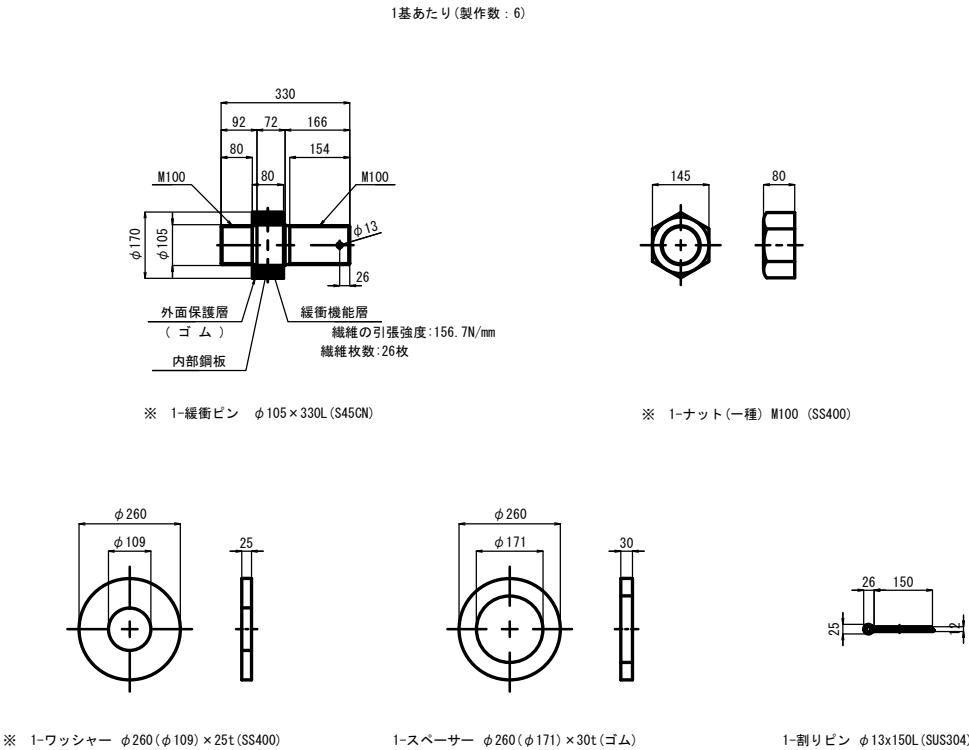
台座調整モルタル詳細図



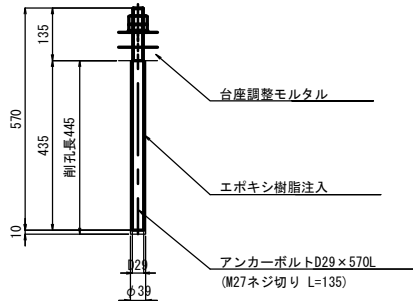
アンカーボルト詳細図



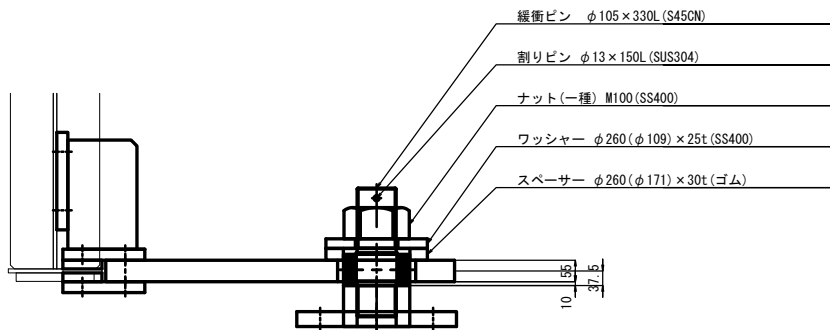
緩衝ピン詳細図



アンカーボルト取付詳細図



緩衝ピン取付詳細図



- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- 特記なきスカーラップは全てR35とすること。
- 指示なき溶接は完全溶け込み溶接とする。
- 鋼製架台の表面処理は、溶融亜鉛めっき（JIS H 8641）とする。
取付金具類の膜厚はHDZT77とする。
アンカーボルト類の膜厚はHDZT49とする。
緩衝ピン類は、※印の部材に溶融亜鉛めっきを施すものとし、膜厚はHDZT49とする。

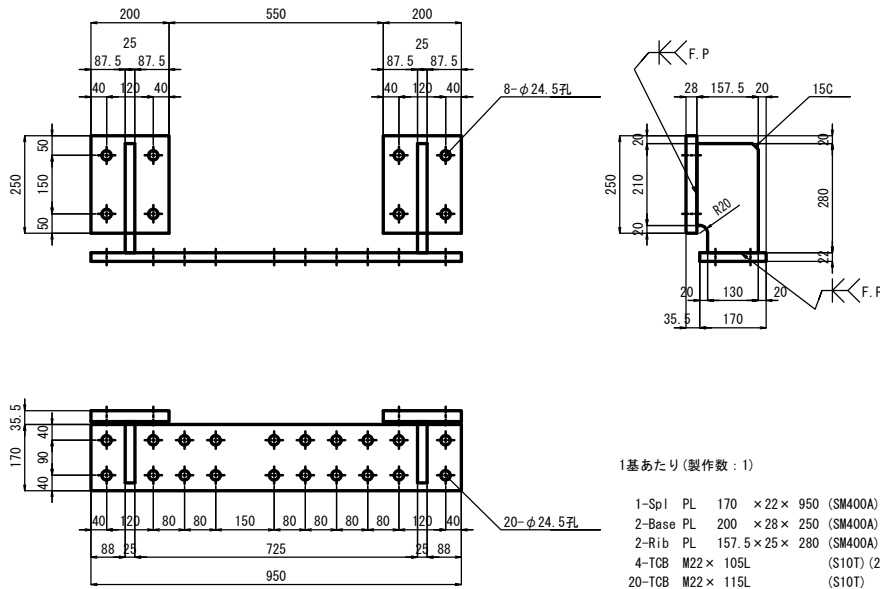
※この図面はA 1サイズを原寸とする

工 事 名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	P1橋脚(A1側) 水平力分担構造図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	12/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

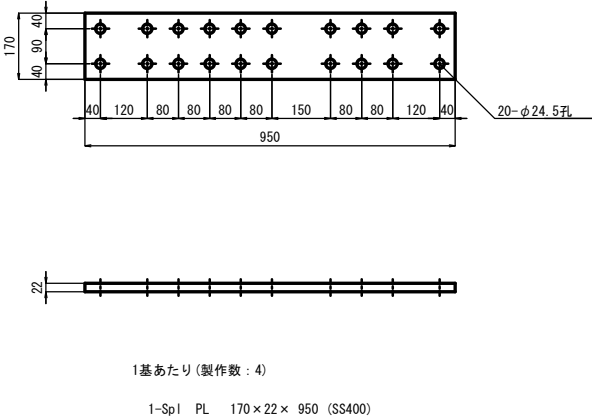
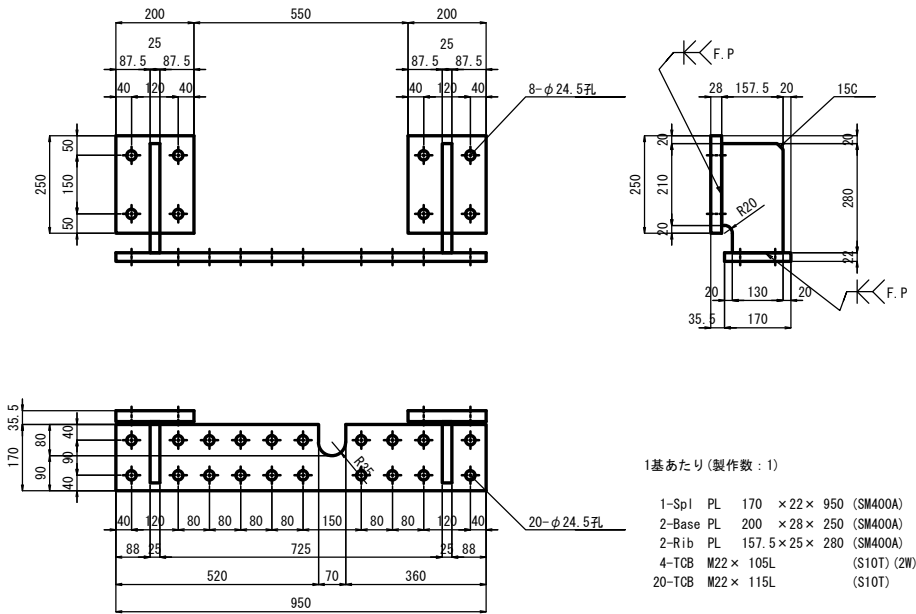
主桁補強材詳細図

添接板詳細図

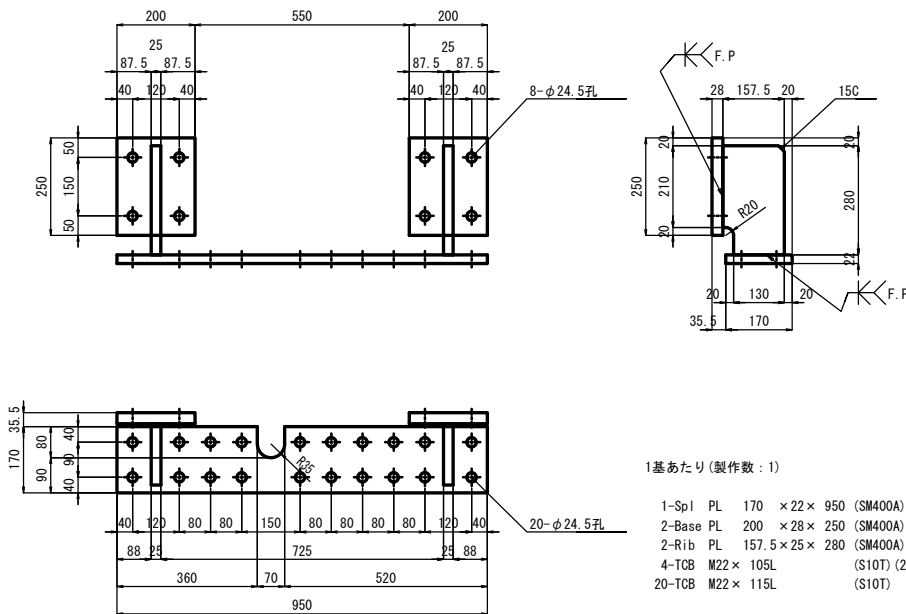
G2 (G1側)



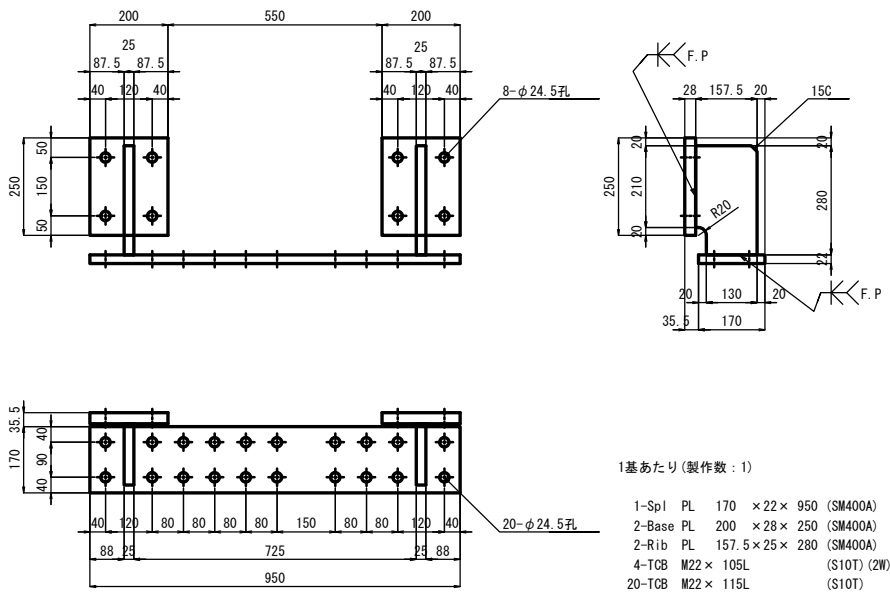
G2 (G3側)



G3 (G2側)



G3 (G4側)



- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 緩衝ビンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 緩衝ビンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- 特記なきスカーラップは全てR35とすること。
- 指示なき溶接は完全溶け込み溶接とする。

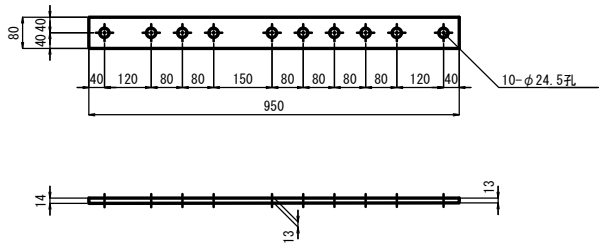
※この図面はA 1サイズを原寸とする

工 事 名	令和6年度北橋維補繕第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	P1橋脚(A2側) 水平力分担構造図(その6)		
縮 尺	図示	図面番号	14/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

フィラープレート詳細図

G2 (G1側)

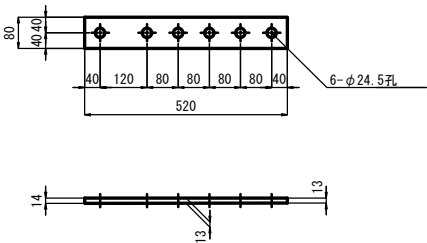
TYPE-1



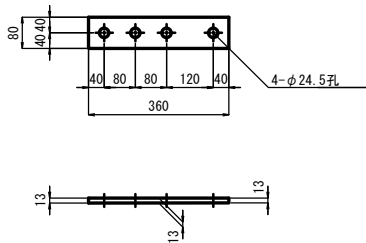
1基あたり(製作数：1)
1-Fill PL 80×14× 950 (SS400)

G2 (G3側)

TYPE-1



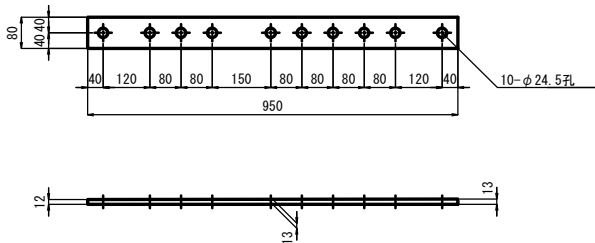
1基あたり(製作数：1)
1-Fill PL 80×14× 520 (SS400)



1基あたり(製作数：1)
1-Fill PL 80×13× 360 (SS400)

G2 (G1側)・G3 (G2側)

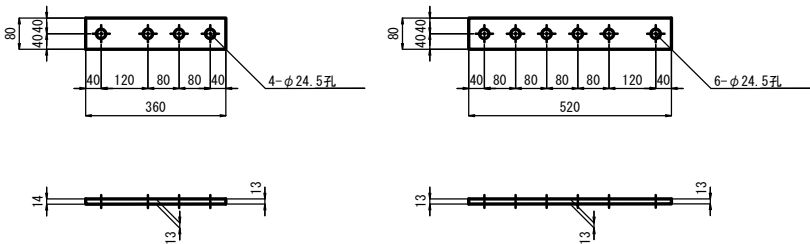
TYPE-2



1基あたり(製作数：2)
1-Fill PL 80×13× 950 (SS400)

G3 (G2側)

TYPE-1

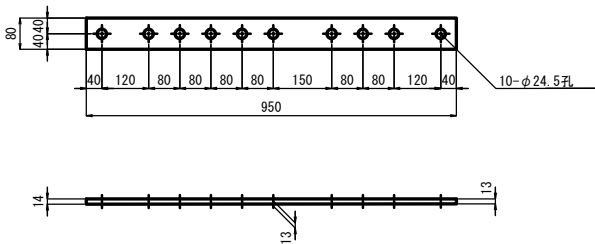


1基あたり(製作数：1)
1-Fill PL 80×14× 360 (SS400)

1基あたり(製作数：1)
1-Fill PL 80×13× 520 (SS400)

G3 (G4側)

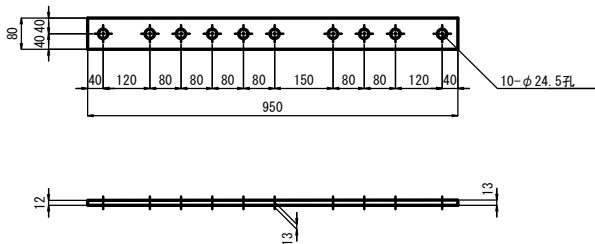
TYPE-1



1基あたり(製作数：1)
1-Fill PL 80×14× 950 (SS400)

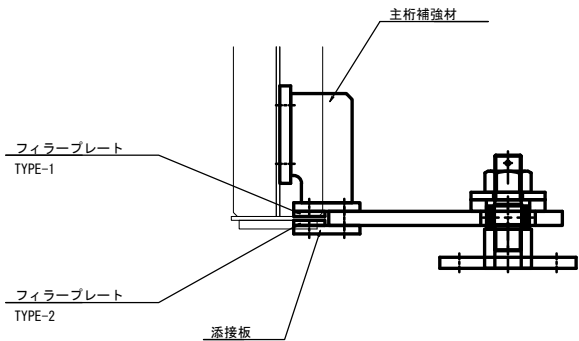
G2 (G3側)・G3 (G4側)

TYPE-2



1基あたり(製作数：2)
1-Fill PL 80×13× 950 (SS400)

フィラープレート、添接板取付詳細図

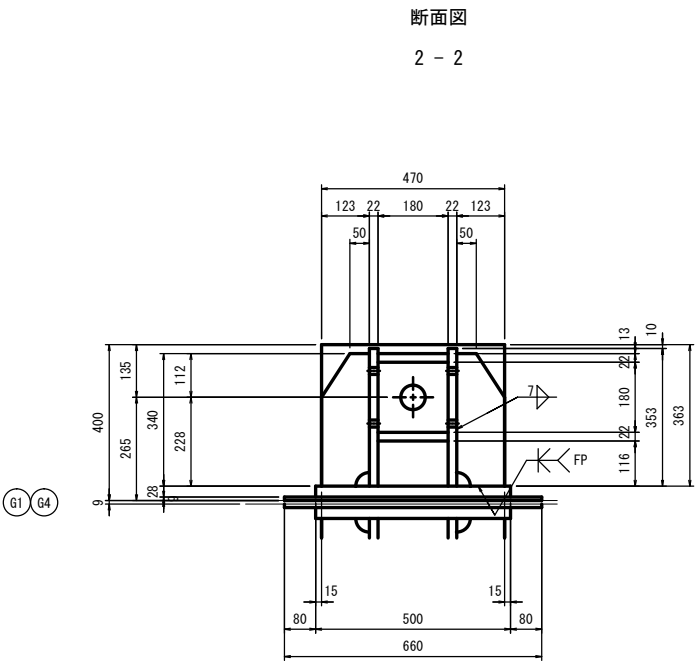
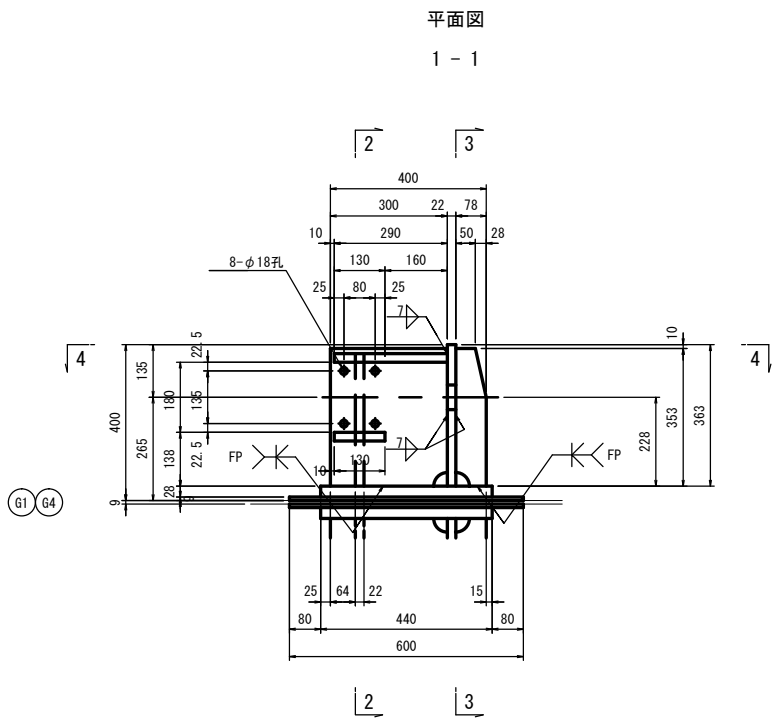


- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 緩衝ビンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 緩衝ビンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- 特記なきスカーラップは全てR35とすること。
- 指示なき溶接は完全溶け込み溶接とする。

※この図面はA 1 サイズを原寸とする

工 事 名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	P1橋脚(A2側) 水平力分担構造図(その7)		
縮 尺	図示	図面番号	15/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

ブラケット詳細図

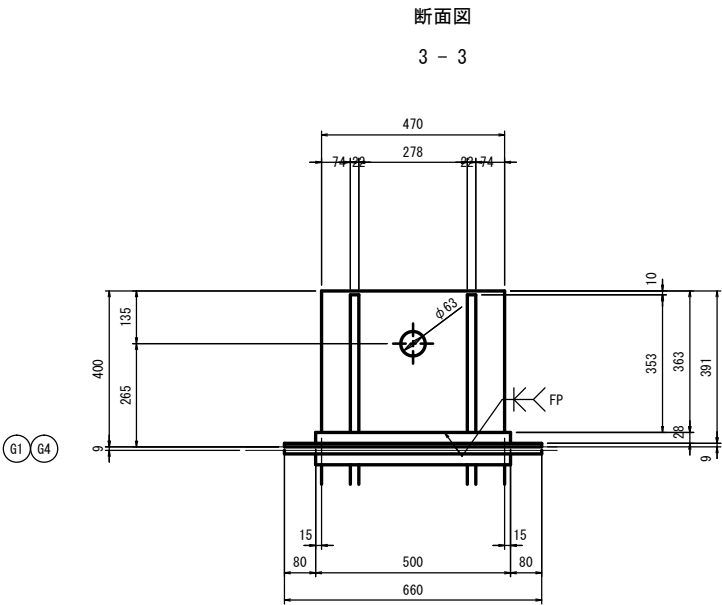
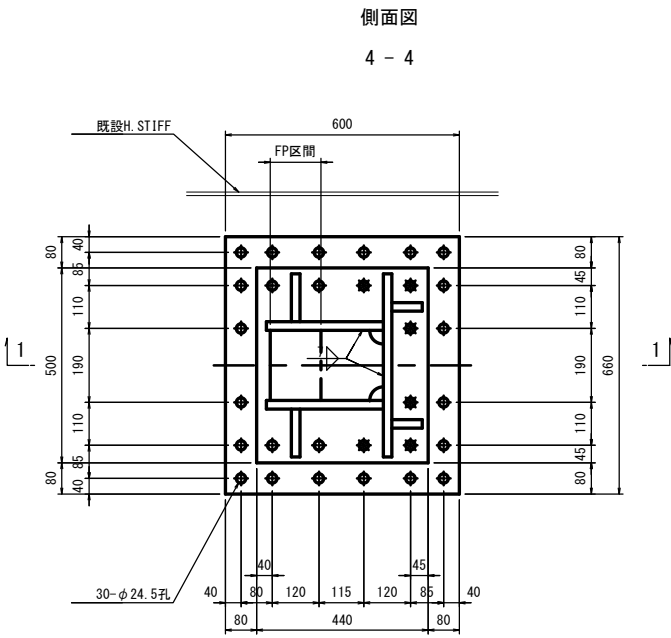


ブラケット1基当り(製作数：8基)

- 2-PL 78x22x353
- 2-PL 300x22x353
- 2-PL 123x22x340
- 1-PL 180x22x290 (SM490A)
- 1-PL 130x22x180 (SM490A)
- 1-PL 363x22x470
- 1-PL 440x28x500 (SM490YB)
- 1-PL 600x 9x660

ブラケット2基当り(全4セット)

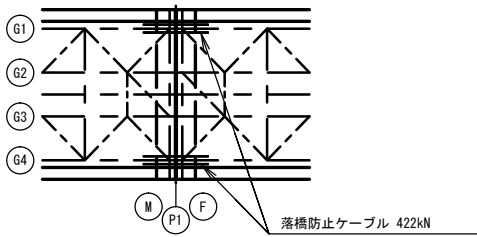
- 6-TCB M22x125 (S10T) [+1W]
- 4-TCB M22x120 (S10T)
- 20-TCB M22x 65 (S10T)



注記)

- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
- 部材は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- の高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。

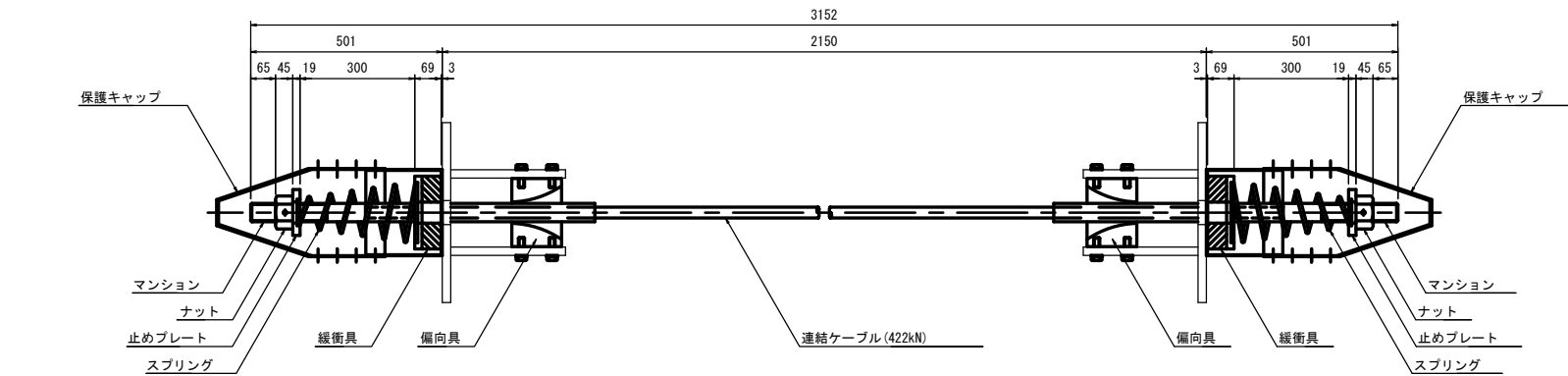
配置図 S=1:200



※この図面はA 1サイズを原寸とする

工 事 名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	P1橋脚 落橋防止構造図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	17/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

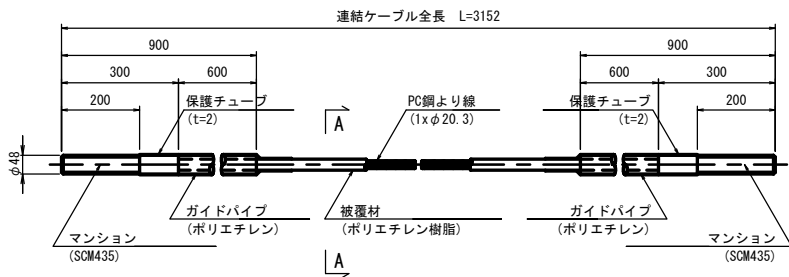
取付詳細図



材 料 表 (落橋防止構造1組当たり) 全4組

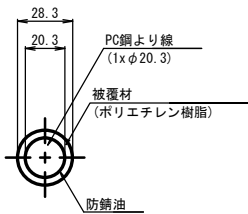
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル (マンション) (ガイドパイプ)	422kN 3152mm	本	1	PC鋼より線、ポリエチレン被覆
	422kN用 標準	個	2	SCM435:ねじきり標準 <ケーブルに組込>
	422kN用 600mm	本	2	ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	422kN用	個	2	S45C:亜鉛めっき (HDZT77)
止めプレート	422kN用	個	2	SS400相当品:亜鉛めっき (HDZT77)
スプリング	422kN用 L=450	個	2	SW-C:亜鉛めっき、クロメート処理
緩衝具	422kN用	個	2	SS400相当品:亜鉛めっき (HDZT77) + 合成ゴム
偏向具 (取付ボルト)	422kN用	個	2	ポリエチレン
	M16x50 1W付	本	16	SS400相当品:亜鉛めっき (HDZT49) 接着剤付
保護キャップ	422kN用	組	2	ポリエチレン:8-止めビス付

連結ケーブル



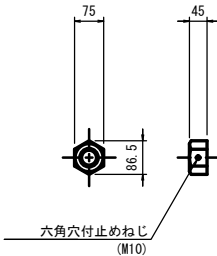
A-A断面図

S=1:2



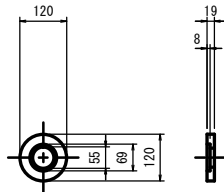
ナット

(S45C:亜鉛めっき)



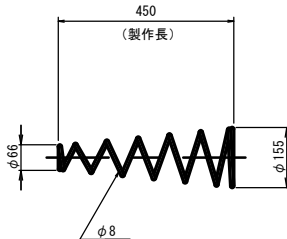
止めプレート

(SS400相当品:亜鉛めっき)



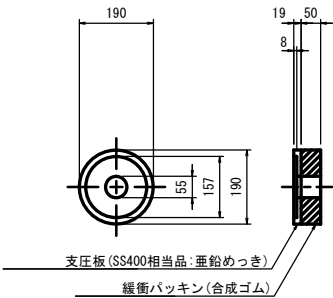
スプリング

(SW-C:亜鉛めっき、クロメート処理)



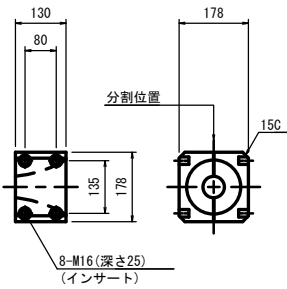
緩衝具

(支圧板+緩衝パッキン)



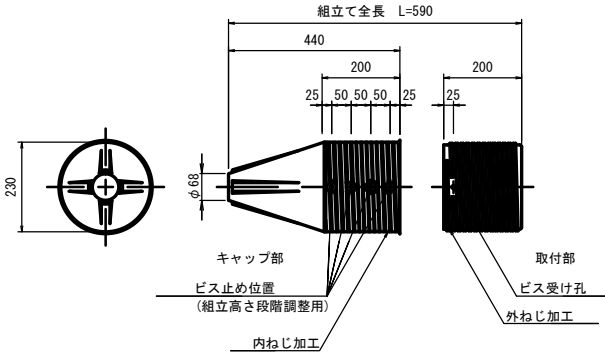
偏向具

(ポリエチレン)



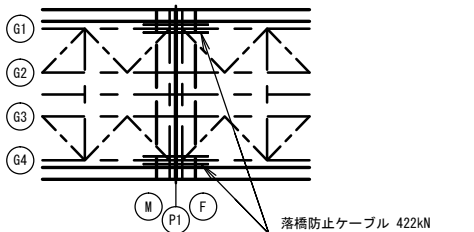
保護キャップ

(ポリエチレン)



配置図

S=1:200



注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。

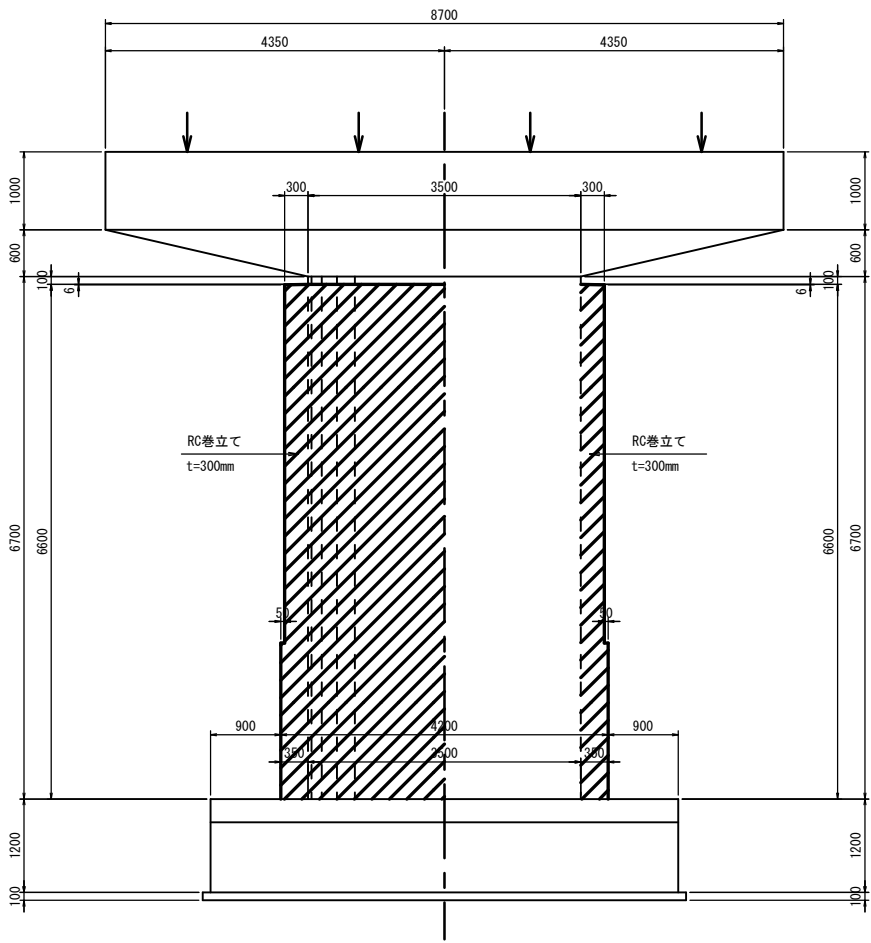
※この図面はA 1サイズを原寸とする

工 事 名	令和6年度北橋維補繕第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	P1橋脚 落橋防止構造図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	18/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

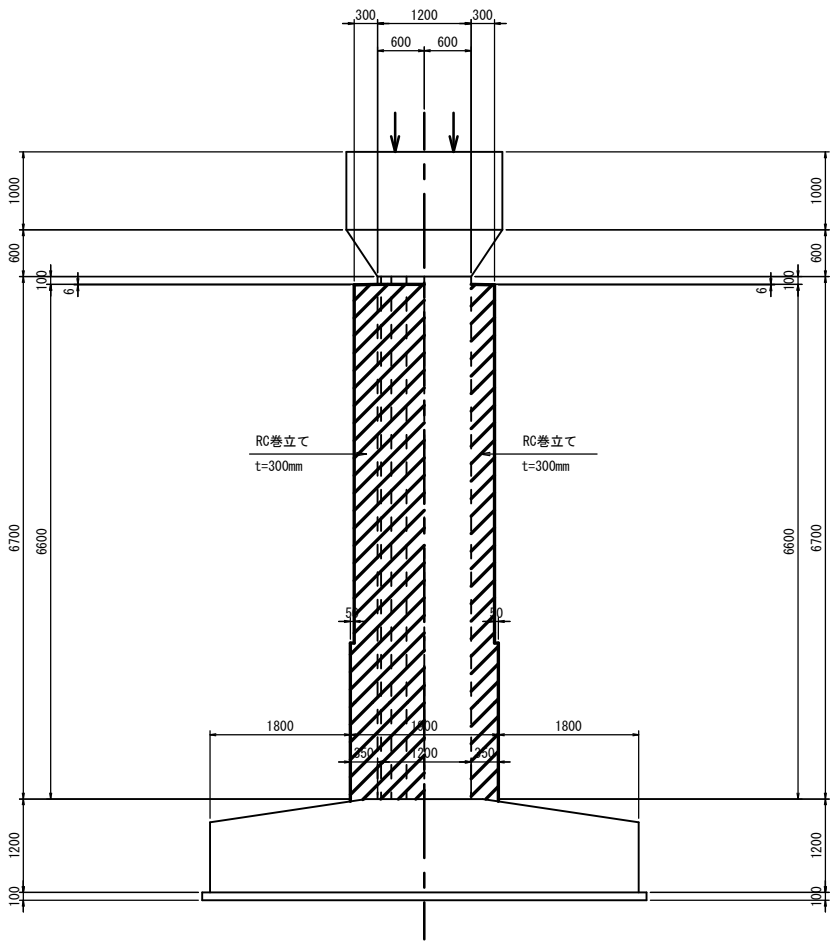
小古曽橋 P1橋脚補強構造図

S=1:50

正面図

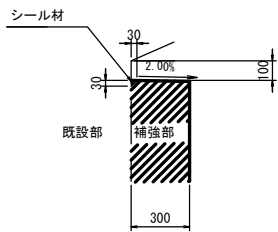


側面図

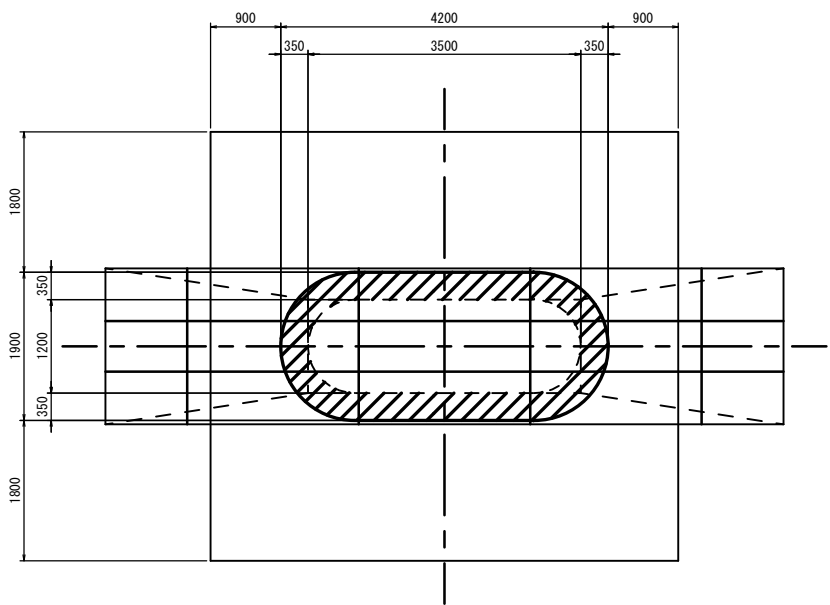


a部詳細図

S=1:20



平面図



- 特記事項
- ・ 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認する事。
 - ・ 新旧コンクリート境界面は全て下地処理を行う事。
 - ・ 巻立て部のコンクリートの設計基準強度は24N/mm2とする。
 - ・ 使用鉄筋はSD345とする。
 - ・ コンクリートの打設時は、既設コンクリート面を湿润状態にする事。
 - ・ アンカー削孔箇所は鉄筋探査を行い既設鉄筋を損傷させない事。

※この図面はA 1サイズを原寸とする

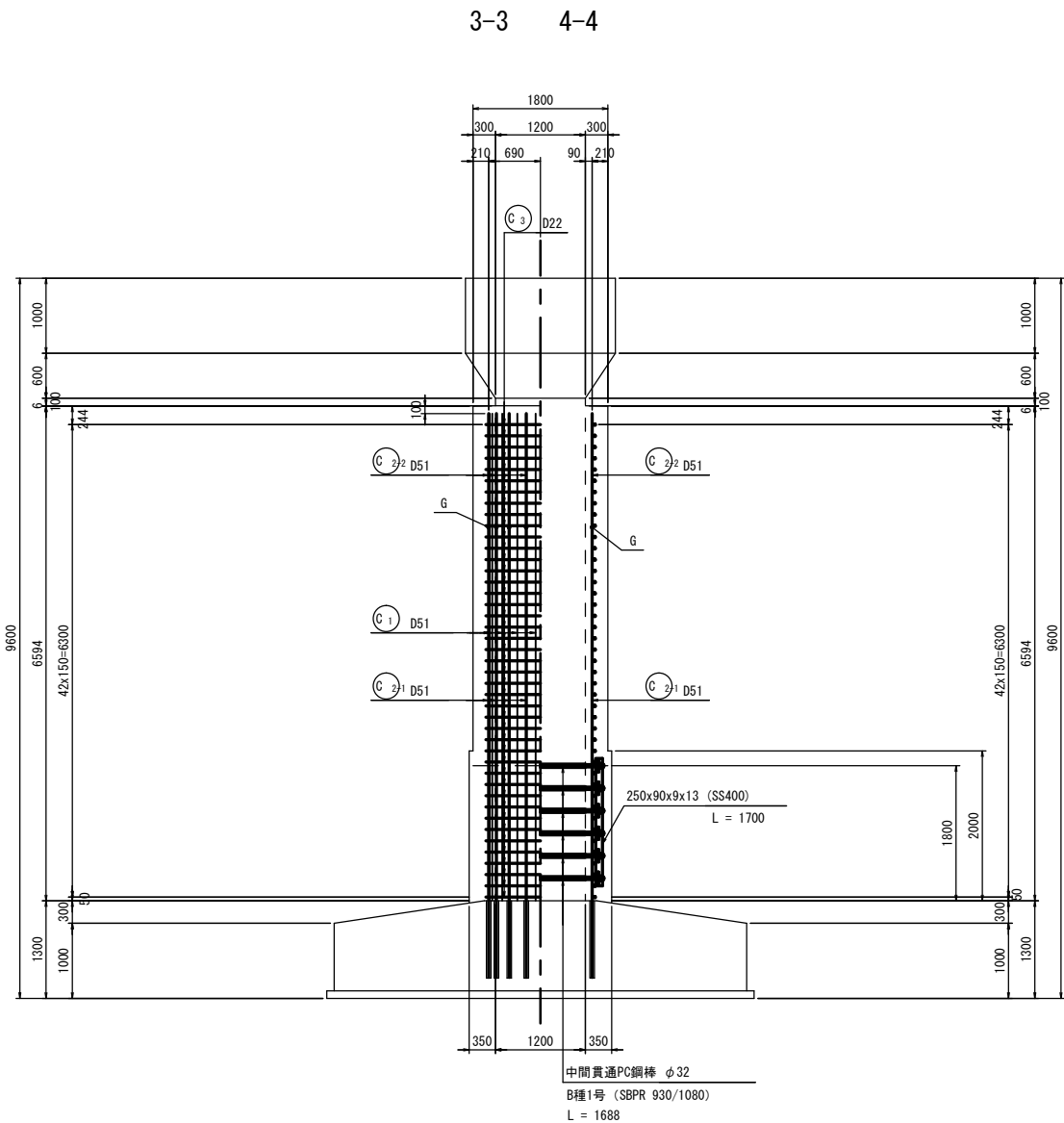
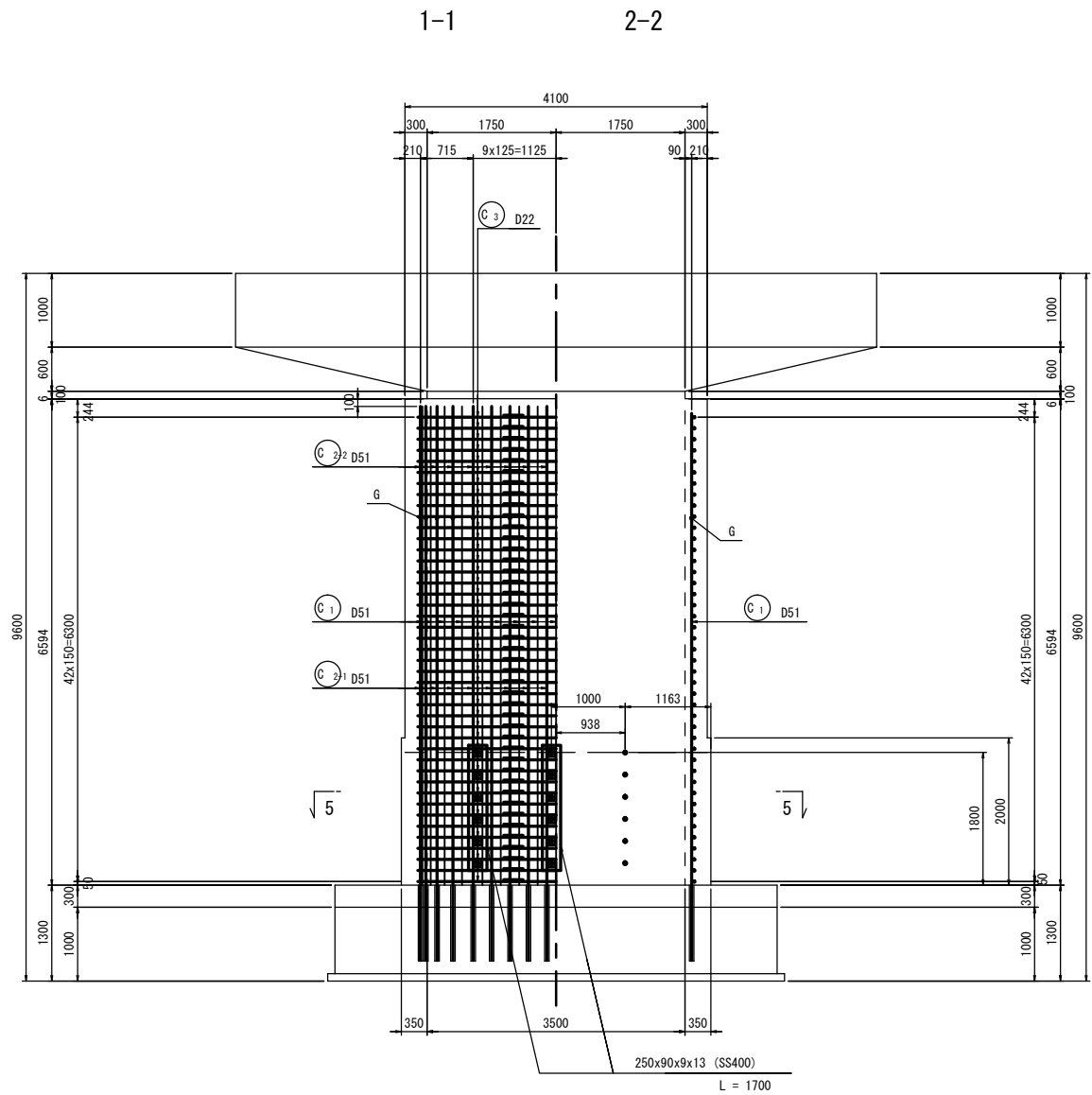
工 事 名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	P1橋脚 補強構造図		
縮 尺	図示	図面番号	19/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

小古曽橋 P1橋脚補強配筋図(その1)

S=1:50

正面図

側面図



組立て用アンカー詳細図

S=1:10

かぶり詳細図

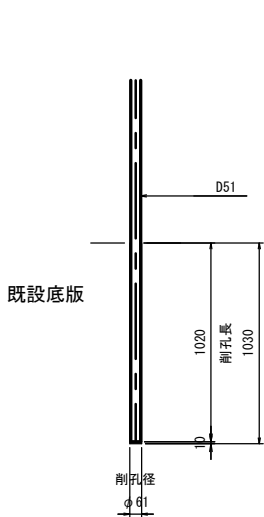
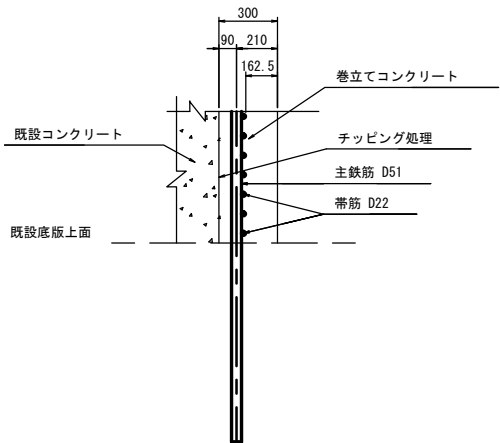
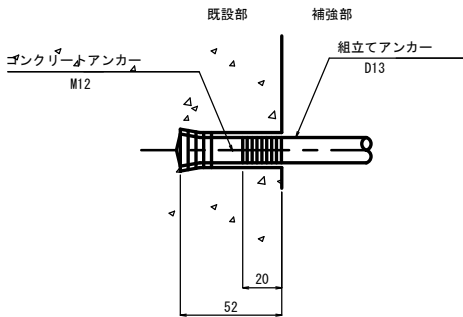
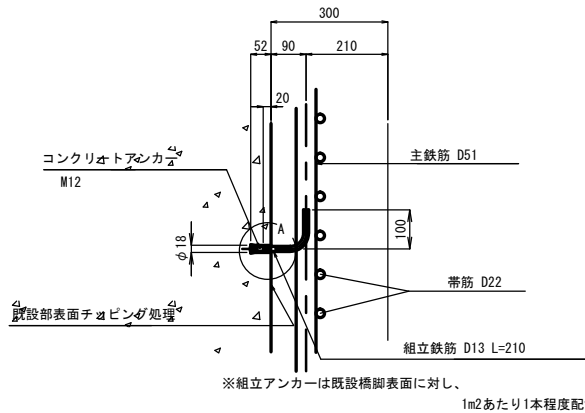
S=1:20

アンカー削孔詳細図

S=1:20

A部詳細図

S=1:2



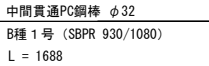
- 特記事項
- ・施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認する事。
 - ・新旧コンクリート境界面は全て下地処理を行う事。
 - ・巻立て部のコンクリートの設計基準強度は24N/mm2とする。
 - ・使用鉄筋はSD345とする。
 - ・コンクリートの打設時は、既設コンクリート面を湿潤状態にする事。
 - ・アンカー削孔箇所は鉄筋探査を行い既設鉄筋を損傷させない事。

※この図面はA 1サイズを原寸とする

工 事 名	令和 6 年度北橋維補継第 1 号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	P1橋脚 補強配筋図(その 1)		
縮 尺	図示	図面番号	20/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

S=1 : 50

5-5



1

2

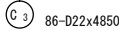


Figure 10-10 shows the reinforcement details for a concrete slab. (a) Section A-A shows a slab with a central reinforcement bar of diameter D , length L , and spacing 20 . The bar is positioned at a height a from the bottom. (b) Detail view of the reinforcement bar showing the lap length s and the distance a from the bottom.

鉄筋径 D	L	ビート幅 S	のど厚 a
D22	260	11.0	5.6

S=1:10



- ・ 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認する事。
- ・ 新旧コンクリート境界面は全て下地処理を行う事。
- ・ 巻立て部のコンクリートの設計基準強度は24N/mm²とする。
- ・ 使用鉄筋はSD345とする。
- ・ コンクリートの打設時は、既設コンクリート面を湿潤状態にする事。
- ・ アンカー削孔箇所は鉄筋探索を行い既設鉄筋を損傷させない事。

工 事 名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曾橋耐震補強工事
-------	-----------------------------

施工箇所名	津市安濃町戸島地内
-------	-----------

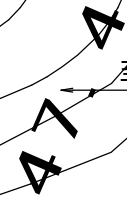
図面の種類	P1橋脚 補強配筋図(その2)
-------	-----------------

縮尺	図示	図面番号	21/24
----	----	------	-------

事業所名	津市建設部津北工事事務所
------	--------------

(参考)

S=1:250



43.4

50

工 事 名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曾橋耐震補強工事
-------	-----------------------------

[illegible]

給	図示	図面番
---	----	-----

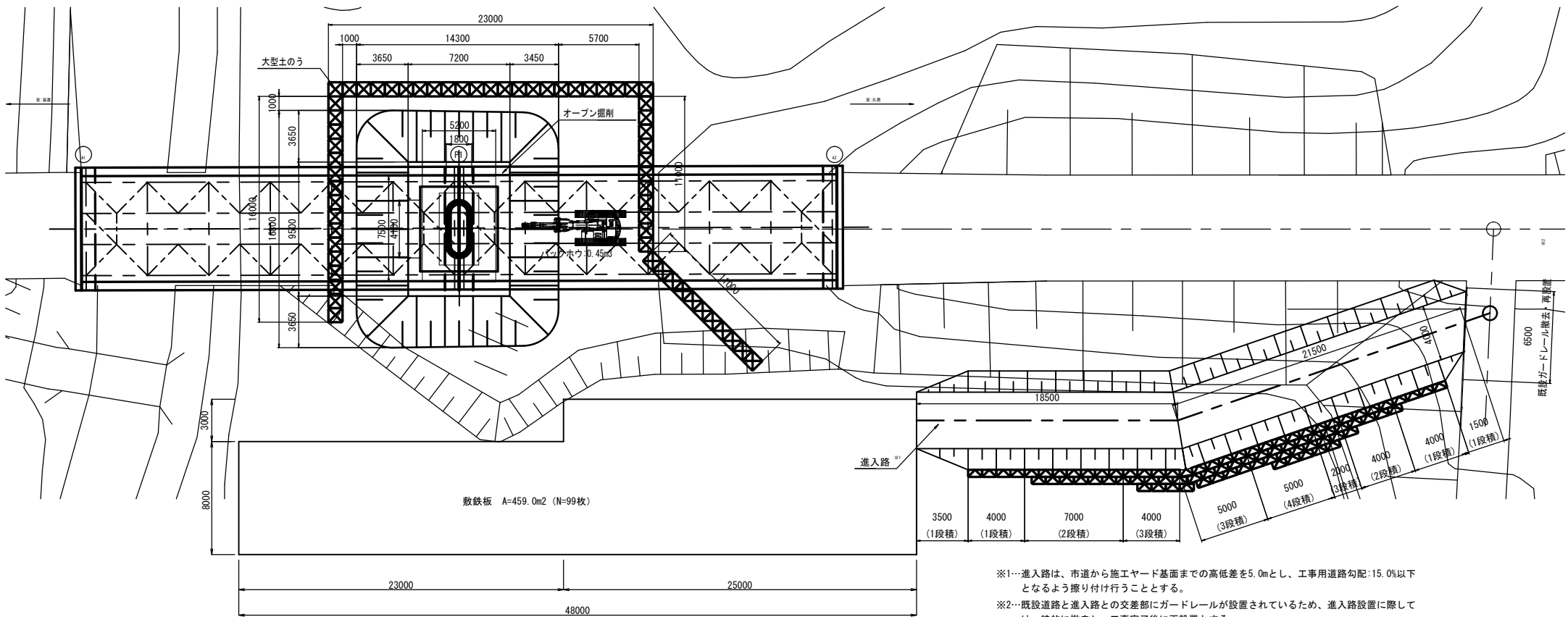
事業所名	津市建設部津北工事事務所
------	--------------

事業所名	津市建設部津北工事事務所
------	--------------

掘削および進入路設置図

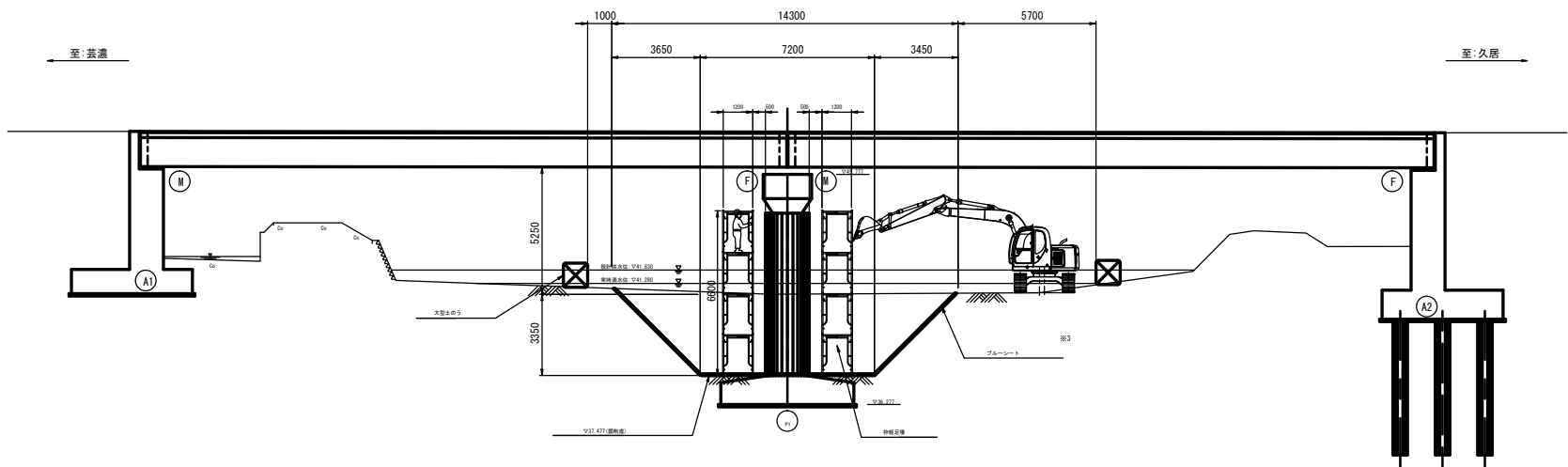
(参考)

平面図 S=1:200



※1…進入路は、市道から施工ヤード基面までの高低差を5.0mとし、工事用道路勾配15.0%以下となるよう擦り付け行うこととする。
※2…既設道路と進入路との交差部にガードレールが設置されているため、進入路設置に際しては一時的に撤去し、工事完了後に再設置とする。

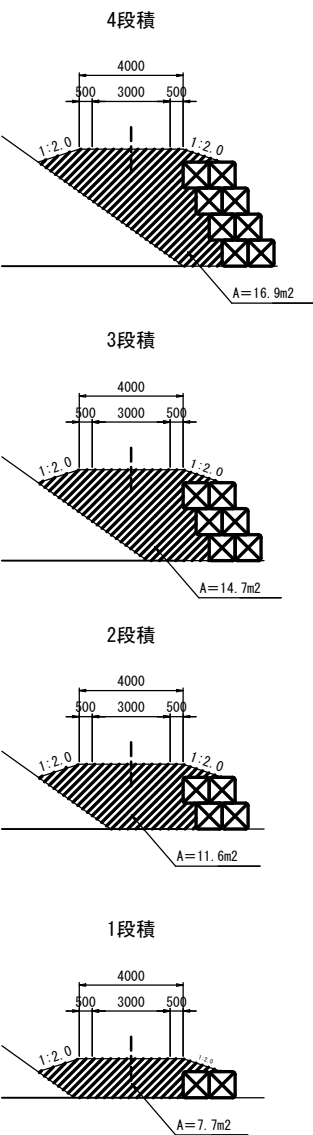
側面図 S=1:150



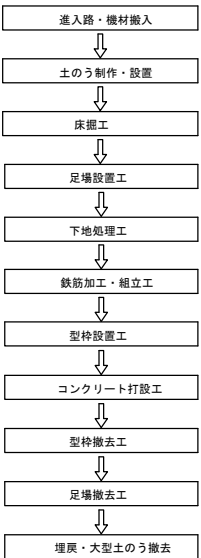
※3…池底であるため、掘削においては法面安定のため現地の地盤状況を十分に確認の上、掘削作業を行うこと。必要であればブルーシートなどで法面保護を行うこととする。

進入路断面図 S=1:150

(土のう積みタイプ別)



施工フロー

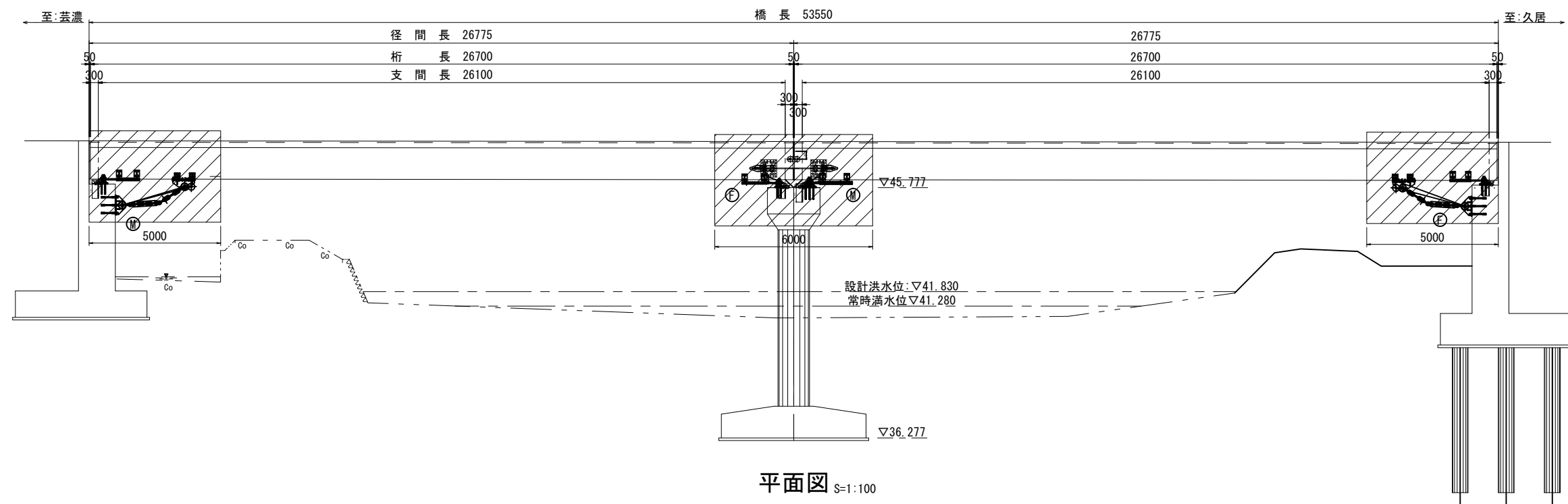


※この図面はA 1サイズを原寸とする

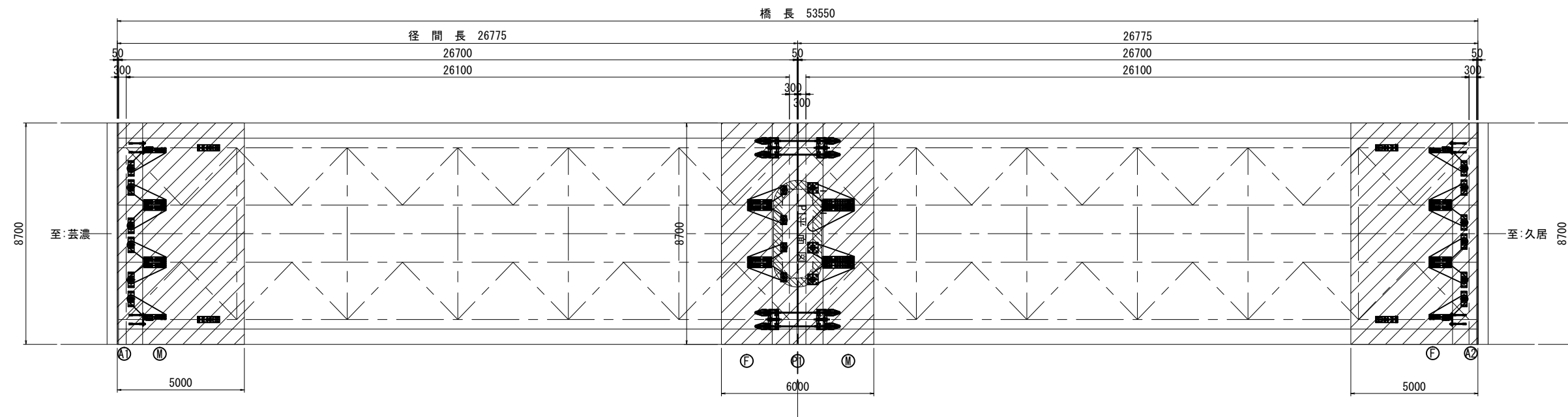
工 事 名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曾橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	掘削及び進入路設置図		
縮 尺	図示	図面番号	23/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

小古曾橋 足場工図 (参考)

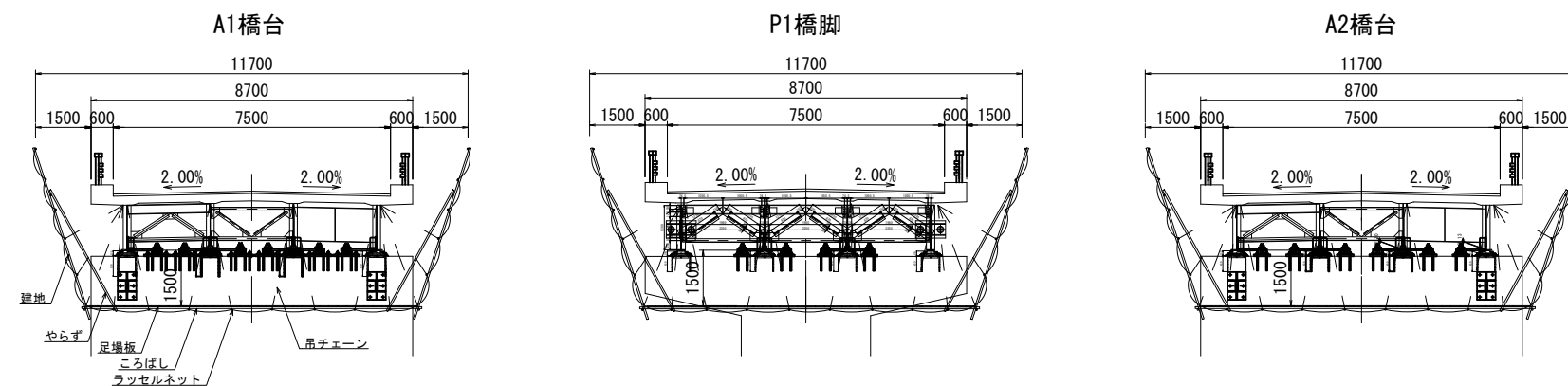
側面図 S=1:100



平面图 S=1:100



断面图 S=1:100



※この図面はA 1サイズを原寸とする

工 事 名	令和6年度北橋樑補修第1号 小古曽橋耐震補強工事		
施工箇所名	津市安濃町戸島地内		
図面の種類	足場工図(参考)		
縮 尺	図示	図面番号	24/24
事業所名	津市建設部津北工事事務所		